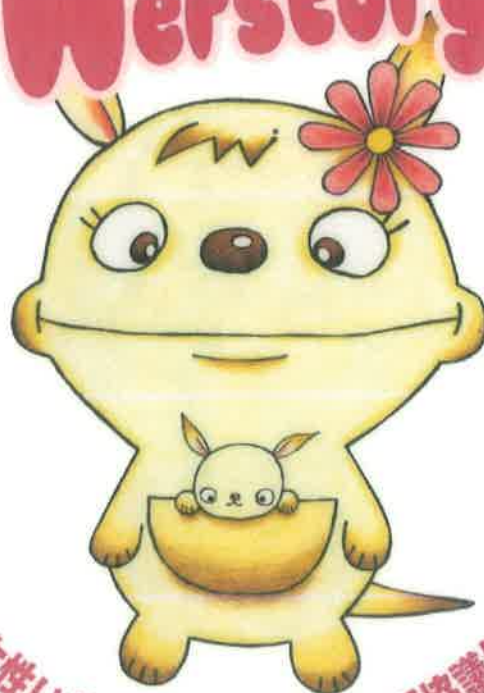


平成24年度 事業報告書

Herstory



女性いきいきチャレンジ応援協議体

女性いきいきチャレンジ応援協議体

東京都日野市旭が丘3-1-25

TEL:042-843-3006

info@herstory1101.net

目次

1. 地域の課題
2. モデル事業の概要
3. マルチステークホルダーの概要（役割分担等）
4. 事業実施上の課題
5. モデルとして他の NPO・行政などに紹介する仕組み
6. 平成25年度以降の予定
7. 新しい公共事業における課題と今後の展望
8. 実施事業の詳細な内容



1. 地域の課題

【背景】

- 1) 日野市は、第5次日野市基本構想・基本計画「2020プラン」の策定により、「新しい公共」の考え方に基づく「公民協働」の推進を地域課題として挙げた。
- 2) 日野市は、多摩地区有数の製造品出荷額を誇る工業都市として発展してきたが、昨今工場の規模縮小・撤退が続き（東芝日野工場・日野自動車の撤退など）①家計・景気動向の側面から、女性の就業希望者の増加が見られ、多様な働き方の仕組み作りが必要である。②少子・高齢化（平成22年65歳以上人口の割合は多摩地域26市中9番目）による人口減少の側面からも、出産・子育てなどで離職した女性を新たな担い手として就職支援を強化することが緊急課題となっている。
（別紙 添付資料 第5次日野市基本構想・基本計画「2020プラン」）

工業都市から商業都市への移行を模索する日野市において、新規雇用創出を生み出す商業部門の担い手となる女性の創業支援は、地域の重要課題である。

【地域課題の解決へ向けた事業目的】

- 1) 新たな労働の担い手として、女性の就労（再就職チャレンジ含）に向けた支援を行う。
- 2) 優秀かつ多様な人材を育成し、他団体や異業種連携などによる新たな雇用創出・雇用連携の仕組みを構築する。
- 3) 技能・技術習得などから創業・創業後の事業定着まで一貫した女性の創業支援を行い、製造業に代わる新たな地域産業（商業）を生み出す。
①、②を主たる目的とし、協議体の社会的信用度の構築、活動基盤の整備・充実、連携強化を行う。また、市民ニーズに迅速に対応できる行政組織のフラット化、庁内部課系の壁を取り除き、生産性の高い組織体制の再構築を図ることを副次目的とする。



2.モデル事業の概要

- ① 未就労・子育て中の女性の社会参画を促す啓発とニーズ調査
- ② 就労中断中の女性の能力開発・技術取得講座の実施
- ③ 女性の創業を支援し、日野市の商業の担い手として定着に向けた支援を行う
- ④ 就労を希望する女性と地元事業者との交流の場を作る
- ⑤ 女性の就労・創業をサポートする人材育成の実施

《平成23年度》

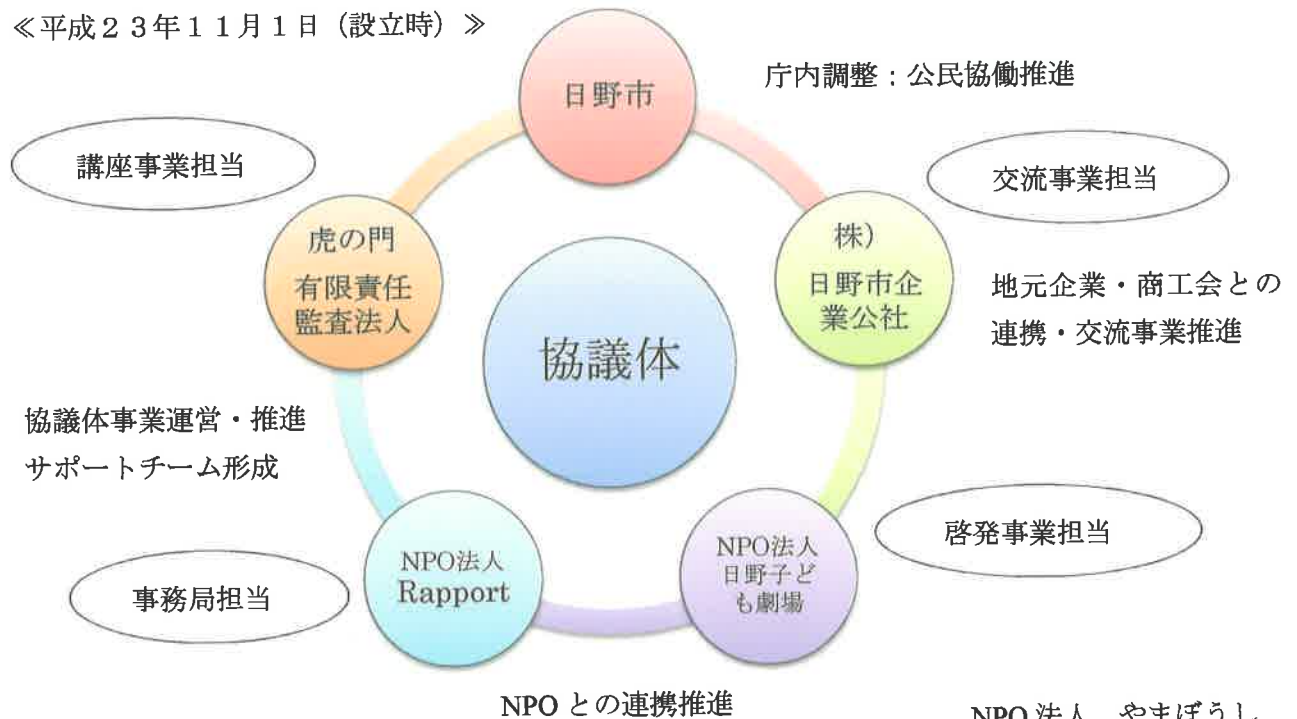
平成23年11月 ～平成24年1月	女性いきいきチャレンジ応援事業実施に向けたニーズ調査
平成24年1月	女性のための創業支援講座
平成24年2月	おかあさん行ってらっしゃい！女性創業者との交流会
平成24年2月	パネル展：アンケート調査結果報告・今後の活動
平成24年3月	リンパDe健康 お家Deリンパケア講師養成講座
平成24年3月	パネル展：アンケート調査結果報告

《平成24年度》

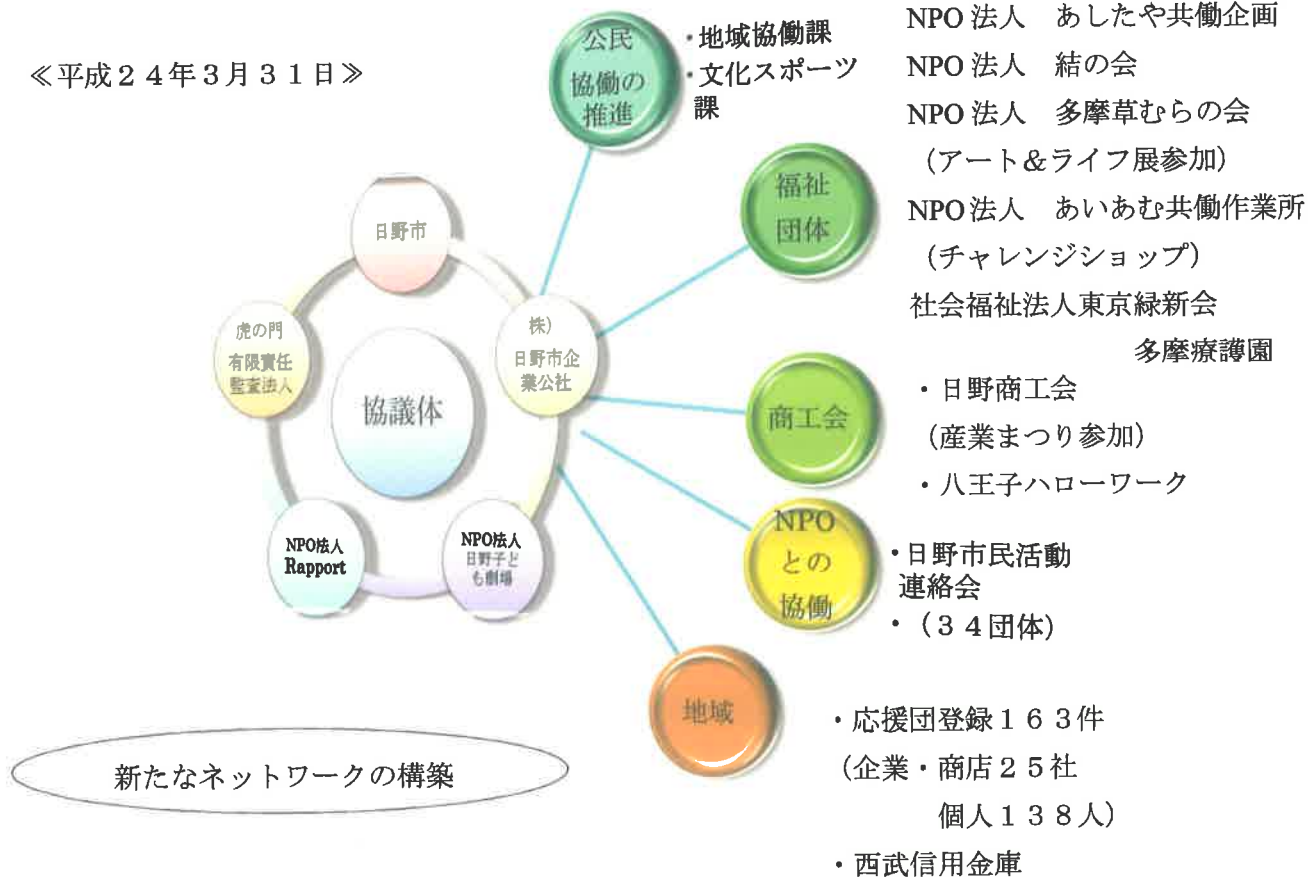
平成24年3月～6月	インキュベーターコーディネーター養成講座
平成24年4月～5月	ワークライフバランスを実現するための女性の創業応援講座
平成24年6月	あなただけの魅了度UP！メイク講座
	パネル展・認知度アンケート調査
平成24年7月	本気で創業！ 全国創業塾 人気ナンバーワン講師によるマーケティング講座
	子育てキャリア講座
平成24年7月～8月	自信を持って就職活動！エクセル習得講座
平成24年9月	交流事業：ふれあいの森フェスタ
	女性の為の再就職応援セミナー
平成24年11月	交流事業：日野市産業まつり
	認知度アンケート調査
	交流事業：アート&ライフマーケット
平成24年3月	パネル展：活動実績報告

3. マルチステークホルダーの概要（役割分担等）

《平成23年11月1日（設立時）》



《平成24年3月31日》



4.事業実施上の課題

①庁内調整の課題

工業都市として発展してきた日野市は、平成23年度より相次ぐ大規模工場の閉鎖や撤退、工場規模縮小などによる地域課題に対して、平成24年3月に産業振興課を中心として、今後10年間の工業振興の方向性を示すべく、【日野市工業振興基本構想】を策定した。

この基本構想の中では、日野市における工業の課題を整理し、工業振興の観点からの将来像を明らかにし、そのための課題解決の方向性やアクションプラン等を示している。

ものづくりを中心とした工業振興、再興の流れの中で、①【女性創業者にやさしい街づくり】②【女性に視点を当てたプチ創業支援・再就職支援による地域活性化】を目指した当該協議体事業の女性に特化する事業の展開を諮ることには、困難性があったと思われる。

庁内調整については、協議体の所管となった日野市男女平等課が窓口となり、庁内関連部署からの協力や理解を求め、行政組織のフラット化を諮ろうと努めたが、関係所管とのコミュニケーションギャップを埋めることが難題であった。同様に困難性が高かった庁内連携については、今後も継続して諮っていくことは重要と考える。

『新しい公共支援事業』についての説明責任を果たし、事業継続の答えを行政より導き出せなかったのは、協議体としての力不足のみではなく、社会経済状況も要因のひとつである。

庁内部課系の壁を乗り越え、生産性の高い組織体制の再構築を諮るとした事業目的は、必ずしも十分とはいかなかったと思われる。

②事業継続制への3つの課題

交付金を原資とした『支援事業を自主事業化』することへの課題は大きい。

事業運営には、必要な経費が当然のことながら生じる。主に人件費（5029386円）が占める割合は当該事業に於いても交付金（9569000円）の52%を占める。支援事業継続のためには、経常経費確保が第1課題となる。

支援事業にて、収益を上げることは不可能に近く、企業ベースのキャッシュフローを興す事業への転換は、市民の同意を得るうえでも大きな第2の課題として浮上する。

一つ運営基盤を生み出す事業を立ち上げ、支援事業を社会貢献事業として実施する仕組みづくりを行うには、実質1年半の事業期間は十分な助走期間には成り得なかった。第3の課題として交付期間が挙げられる。

創業を希望する者、一步を踏み出したいと願う『女性の居場所づくり事業』、一步を踏み出す勇気を持った女性の『受け皿事業』として実施した ①チャレンジショップ（ハンドメイド商品の販売の場の提供事業）と②ワンコイン・トライアル教室（有資格を活かす講師体験の場の提供事業）の事業成果（下記参照）に対して、一定の成果を挙げられたものと思われる。



創業応援講座・啓発講座を受講した後のフォローアップ・居場所提供事業

: 平成24年6月～平成25年3月

チャレンジショップ出店者	34人
ワンコイン・トライアル教室 講師体験	104人 (述べ)
講師登録者	103人
講座受講者総数	1460人
(内 ワンコイン・トライアル教室)	1050人



創業者・起業者 16名



キャリアブレイク中の女性への就労支援: 保育士 10名

5.モデル事業として他のNPO・行政などに紹介する

仕組み

当該事業は、4に課題として挙げたように、庁内調整の困難さは最後まで残ったが、行政も一構成員として、民間事業者と肩を並べ事業を推進するモデル事業であった為、女性に特化した数々の仕組みづくりが出来たと自負する。

平成23年度実施したニーズ調査データを基にした女性の視点からの事業展開、即ち『女性が何を欲しているのか?』を明確にし、それに応える形での事業展開がNPOと連携する【新しい公共支援事業】であったからこそ迅速に実現出来たと思う。

1) 一歩踏み出そうとした時の居場所作り事業の展開

- ① チャレンジショップ（手作り品販売の場の提供事業）
- ② ワンコイン・トライアル教室（講師体験の場の提供事業）

特に ①は、障害者就労支援事業を行っているNPO法人やまぼうしの全面的なバックアップの基に、障害者が女性の手作り品を販売するという全く新しい事業展開を生み出し、障害者の就労の場を提供する事業としての可能性も見出した。

また、既に創業している女性ならではの洗練された感性や、商業ベースに乗るデザイン力や企画力を福祉作業所の商品開発、改良プロジェクトにプランナーとして参画する仕組みづくりは、福祉の枠を超えた全く新しい取り組みとして、初めの一歩を踏み出すことが出来た。

2) 一歩踏み出した後の受け皿事業を企業と展開（平成25年度）

行政が構成員より離脱したことにより、企業との積極的な連携に着手でき、②で講師体験を終了した講師の受け皿事業の展開を株式会社スポーツアカデミーとの業務提携により諮ることが出来た。

講師として自立する場の提供まで支援できる一歩を踏み出そうとする女性にとっても先駆的実践的な「先が見えるモデル事業」として認知されると自負する。



6.平成25年度以降の予定

新しい公共支援事業に於ける東京都よりの交付期間終了に伴い、日野市、株式会社 日野企業公社、特定非営利活動法人 日野子ども劇場は協議体構成員より離脱することが平成24年10月に決定した。

主たるNPO法人として、事務局を担っていた特定非営利活動法人 Rapportと虎の門有限責任監査法人により、協議体は事業を存続することになった。

《継続事業並びに新規事業》

① 女性の居場所づくり事業・・・障害福祉関連団体との協働事業

チャレンジショップ
(平成24年度より継続)

- ・福祉関連団体との協働事業として推進
- ・障害者の就労の場＝ハンドメイド作家作品販売場所の提供

ワンコイン・トライアル
教室
(平成24年度より継続)

- ・有資格を活用した講師体験による教室開設までの支援事業
- ・ワンコインを卒業した講師の居場所づくり事業

ハスティー
ブランディング化
(平成25年新規事業)

- ・福祉関連団体との協働事業として推進
- ・障害者がハンドメイド作家のハスティーオリジナル作品を製作（ハンドメイド作家を講師として迎える）

② 一歩踏み出すお手伝い事業・・・講師登録者によるメンタルサポート事業

相談窓口設置

- ・創業相談
- ・（担当：インキュベートコーディネーター）
- ・なんでも相談窓口
- ・（担当：セラピー・心理カウンセラー）

③ 女子力 UP!自分磨き支援事業・・・株) スポーツアカデミーとの共催事業

《 ト ム 美 活 部 》

健

- ・新しいスタイルの講座を企画・運営
- ・講座受講日にジム施設が無料で使用できる特典付き
- ・《スポーツジムとの共催事業の特典を活かす》

美

- ・応援団登録の企業やサロンと提携
- ・講座受講生に美への招待（無料体験プレゼント）
- ・《地域循環型の活性化を語る》

知

- ・都内で人気の講師を招致し、講座を開講
- ・《多摩地域の地域課題を解消する》

健・美・知をコンセプトとした2つのコースでの講座企画・運営を実施

① 《チャレンジコース》

対象：何かを変えたい、変わりたい人！一歩踏み出したい人

- 講座例：*台所から始まる政治経済の話 *簿記講座
*資格試験対策に！ かなり役立つ速読法講座
*大人のマナー講座
*リンパケアリスト養成講座
*ネイルアーティスト養成講座
*Face Book の使い方 *PC 教室

特徴： 講座終了後の受け皿として、チャレンジショップ・ワンコイントライアル教室を位置づけ、創業への第一歩を踏み出す為の居場所づくりを行う。

② 《いきいきコース》

対象：日常生活を豊かに楽しみたい人

- 講座例：*紅茶教室 *料理教室 *アート書道 *テーブル茶道
*ボタニカルアート教室
*中国茶芸教室

特徴： ①各種講師希望者の居場所づくり事業としても位置付ける

7.新しい公共支援事業における課題と今後の展望

【新しい公共支援事業】は、行政が構成員として多様な役割を担う NPO や株式会社などと肩を並べ、共に事業の推進を諮ることにある。

①『女性創業者にやさしい街づくり』②『女性に視点を当てたプチ創業支援・再就職支援による地域活性化』が事業として、実績を挙げられた反面、新しい公共支援事業としての組織体制は、先駆的な事業であった為、テーマとして未成熟となり、共通の認識形成に立つには難しかった。

新しい公共支援事業の組織体制の特異性が広く行政内で認知され、市民権を得るには相当の時間経過が必要であり、乗り越えなければならない壁の存在が HABU 役を担う行政、主たる NPO にも多々あるのではなかろうか？

今後の展望としては、【新しい公共支援事業】を担う多様な団体間の共通理解を深める工夫が必要であると思われる。



【新たなマルチステークホルダーの構築】

女性の感性に訴求する

『ちょっとおしゃれな福祉作業所商品開発による障害者の工賃 UP！大作戦』で試作開発した <こだわり野菜のスムージー>

*障害者福祉作業所にて微生物農法で生産されたこだわり新鮮やさい

&

*女性プランナー（サポートチーム）によるプロデュース

特刊シェフの一言

佐藤和シェフ
本平肉にて17年間お過ごし、18年間の経験。その豊富な知識と経験を生かし、様々なお肉やお肉料理、お肉の魅力を伝える。お肉の魅力を伝える。

北海道 白石町で微生物農法で育てたこだわり野菜(産地直産)のばちやを産地直産(産地直産)とそれぞれの特徴を活かして絶妙なバランスで配合したスペシャルスムージーブレンドです。

特定非営利活動法人やまびし
〒181-0051
東京都目黒区東山1-1-1
TEL:042-581-1546
http://www.herstory1301.net

女性いらいやまびしプロジェクト
〒181-0052
東京都目黒区東山1-1-1
東京都福祉センター内
TEL:042-583-3008
http://www.herstory1301.net

プリンセススムージー

HERSTORY プリンセス・スムージー

シンデレラの魔法のスムージー
北海道産かぼちゃ
(農化糖または農世界)
バナナ
りんご
キウイ

富良野産白花生
マンゴー
豆乳
はちみつ
アランのワビユレ

ピーターパンのグリーンエナジースムージー
微生物農法で作った小松菜
バナナ
みかん
キウイ

ここで飲めるよ！ スローフード(ゆっくり)の国産野菜(産地直産)からつくって、健康やまびし。

平成23・24年度活動報告 (2013/2月現在)

東京都新しい公共支援事業

新たな一歩を踏み出す
あなたへの応援講座

《創業応援講座》

- ①『女性の創業応援講座』 講師 山根真知子氏
- ②『本気で創業！全国創業塾人気ナンバーワン
講師によるマーケティング講座』 講師 竹中幸次氏

《再就職応援講座》

新たな労働力としての
あなたへの応援講座

- ①あなただけの魅力度アップ！メイク講座 講師 福田祐樹氏
- ②子育てキャリア講座 講師 山田容子氏
- ③簿記3級直前講座 講師 佐々木健一氏
- ④再就職応援セミナー／面接対策講座 講師 柴原和子氏

《技術取得講座》

創業・就労を目指すあなたへ
各種技術取得講座

- ①リンパケア講師育成講座 講師 石塚あゆみ氏
- ②PC講座(エクセル習得講座) 講師 柳下百合子氏
- ③インキュベート・コーディネーター養成講座 講師 山田容子氏

《創業相談》

あなたの夢の実現を
お手伝い

創業までの個別継続相談受付

講座開講数: 31講座
受講者数: 457人(延)
創業相談者: 12人
創業者: 3人(技術取得講座より)



～私たちの新しい物語が今、ここから始まる
...そしてHERSTORYへ

平成23・24年度 活動報告 (2013/2月現在)

講座から..それぞれの夢の居場所づくりへ

《交流事業の開催:チャレンジショップフェア》



出店者数:31店舗

- H23/2/11 『おかあさんいってらっしゃい! フェア-』
- H24/9/30 『アート&クラフト展』
- H24/11/10・11 『日野市産業まつり~クリスマスヴィレッジ~』
- H24/12/1 『法政大学多摩キャンパス~ コンサートヴィレッジ~』

《チャレンジ・ショップ》

~あなたの夢を実現するチャレンジの場を提供~

創業を目指す女性への支援として、販売並びに委託先としての場の提供を行い、継続的な創業を支援。チャレンジショップの出店を経て、5名の創業者を輩出。2013年1月~ネットショップも開設された。

出店者数:34店舗
創業者数:16名

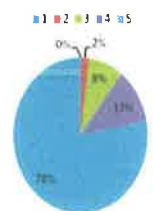
《ワンコイン・トライアル教室》

~保有資格での教室開講を応援~

開講月	開講数	講師体験者数	受講者数
5月	1	1	12
6月	3	1	15
7月	8	15	215(ワンコイン交流事業含む)
8月	9	17	194(ワンコイン交流事業含む)
9月	12	12	88
10月	12	12	85
11月	7	7	51
12月	10	10	88
1月	8	8	72
2月	11	9	113
合計	81(回)	92(人)	933(人)

自主講座開講者
10名

講師の指導・技能評価



※5段階評価

講座内容満足度



※5段階評価

~私たちの新しい物語が今、ここから始まる

...そしてHERSTORYへ



平成23・24年度 活動報告 (2013/2月現在)

そして・・・新しい取り組みへ・・・

《美活部・・・始動！！》

～自信を持って一歩踏み出すお手伝い～

目に見える美しさとともに、内なる知性と健康意識を高めていくことを目的として展開して行きます。

これまで都内に行かなければ学べなかったことを多摩地域で・・・
都内人気講師による『健・美・知』がコンセプトの講座！

* 2012年度～2013年度実施事業

『ウォーキング講座』 ～あなたは正しい歩き方を学んだことがありますか？～

『いまさら聞けない大人のためのマナー講座』

『お花の水彩画教室～ボタニカル・アート』

* 2013年度新規実施予定事業

『台所から始まる政治経済の話』 2013年5月～

～あなたは今の日本や世界の情勢を子どもたちに話してあげることができますか？～

『ウォーキング講座Ⅱ』親子で学ぶ歩き方講座 2013年7月～

『料理長から学ぶ旬の料理教室Ⅱ』 2013年5月

他、多数開催予定

《社会的事業所設立に向けての協働事業》

～障害者&女性の居場所づくり～

福祉作業所と女性がコラボレーションし、女性ならではのアイデアを活かした事業を目指します。

～私たちの新しい物語が今、ここから始まる

・・・そしてHERSTORYへ



『女性いきいきチャレンジ応援事業実施 に向けたニーズ調査』 報告書

女性いきいきチャレンジ応援協議体

平成23年11月12日(土)・13日(日) 日野市産業まつり

アンケート対象者：日野市産業まつり参加者

713人
回収率
100%

平成23年11月・12月

アンケート対象者：市内子ども関連事業運営のNPO法人 会員

平成23年12月9日(水)～22日(火)

アンケート対象者：小学生4・5・6学年の子どもを持つ保護者(母親)

中学生1・2・3学年

保育園 通園されている保護者

児童館 来館された保護者

10585人

回収率
32.4%

配布枚数：小学校・中学校 8725枚

保育園 1260枚 児童館 600枚 } 1000人

平成24年1月10日(火)～1月23日(月)

アンケート対象者：子ども家庭支援センター 来館された保護者

市内6か所図書館 来館された女性

配布枚数：子ども家庭支援センター 400枚

図書館 600枚

回収率
66.2%

成果目標 50% を上回る成果達成

調査要領

1. 目的

女性を対象に創業（就労）に対する意識調査、地域ニーズ（すき間産業等）の掘り起し→24年度実施予定の事業メニュー（講座内容等）の検討材料とする。

2. 調査時期

平成 23 年 11 月～平成 24 年 1 月

11 月…産業まつり

12 月…市内小中学校、保育園、児童館、各種 N P O 法人

1 月…子ども家庭支援センター、図書館

3. 調査項目

- 1) 年齢
- 2) 居住地域
- 3) 就労状況
- 4) 希望就労時間
- 5) 希望収入
- 6) 今後、身につけたい技術・資格
- 7) 1 人起業・創業について
- 8) 地域の隙間サービスの拾い上げ

4. 調査対象

日野市に在住する女性

11 月…産業まつり（約 600 人）

12 月…市内小中学校（25 校／約 8000 人）

保育園（12 園／約 1000 人）

児童館（10 施設／約 600 人）

1 月…子ども家庭支援センター（2 施設／約 400 人）、図書館（約 600 人）

5. 調査および調査票回収方法

- 1) 所定の調査票による街頭調査（産業まつり）
- 2) 各団体に調査票を郵送し、個別配布および回収（市内小中学校、保育園、児童館）
- 3) 調査票・アンケートボックスを設置し、投函してもらう（子ども家庭支援センター、図書館）

6. 回答数および回答率・・・66.2%

*産業まつりおよび N P O 法人

配布数	713
回収数	713
回収率	100.0%

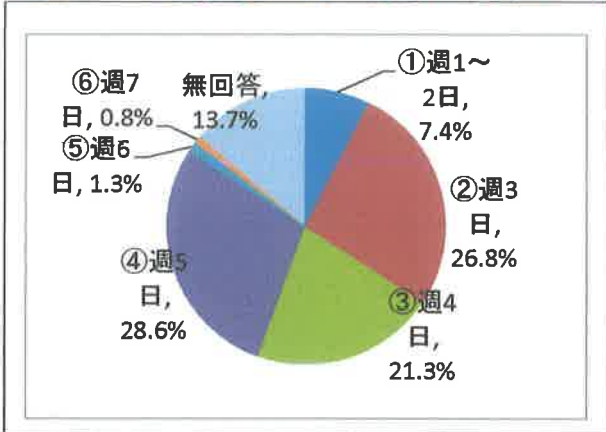
*市内小中学校・保育園・児童館・子ども家庭支援センター・図書館

配布数	11585
回収数	3753
回収率	32.4%

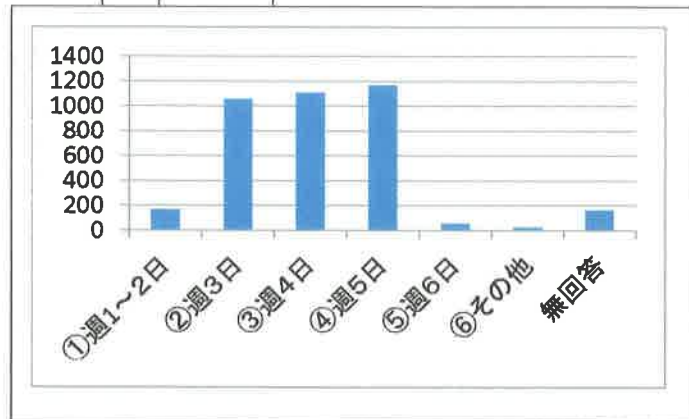
調査結果の概要（一部抜粋）

1. 調査対象：産業まつり・NPO 2. 調査対象：日野市内小学校（4.5.6年保護者・中学校 1.2.3保護者）
 保育園・児童館・家庭支援センター・図書館

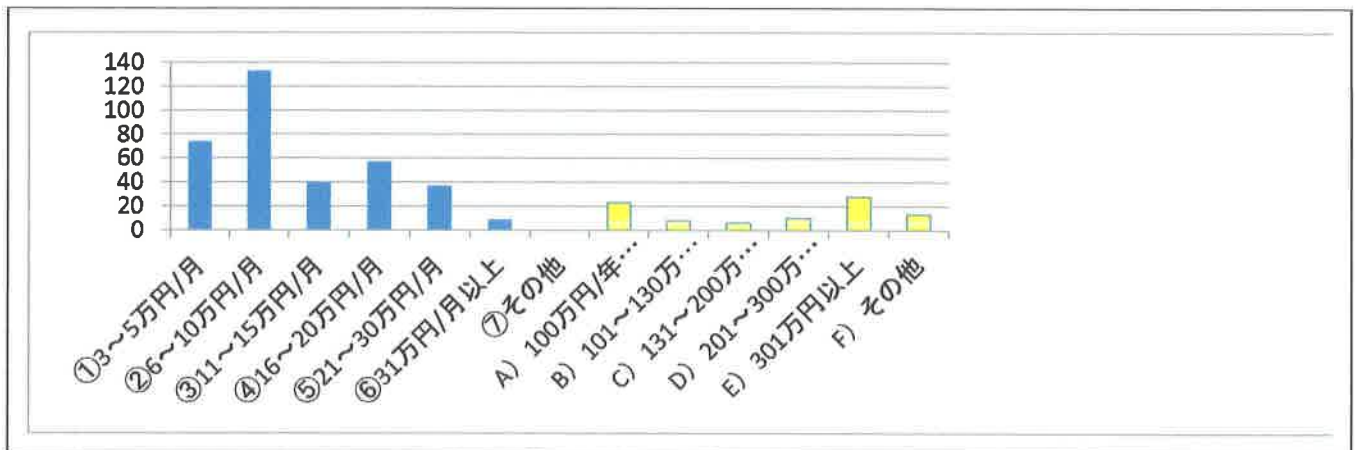
5.働くとしたら、週何日くらい働きたいですか？（対象1）



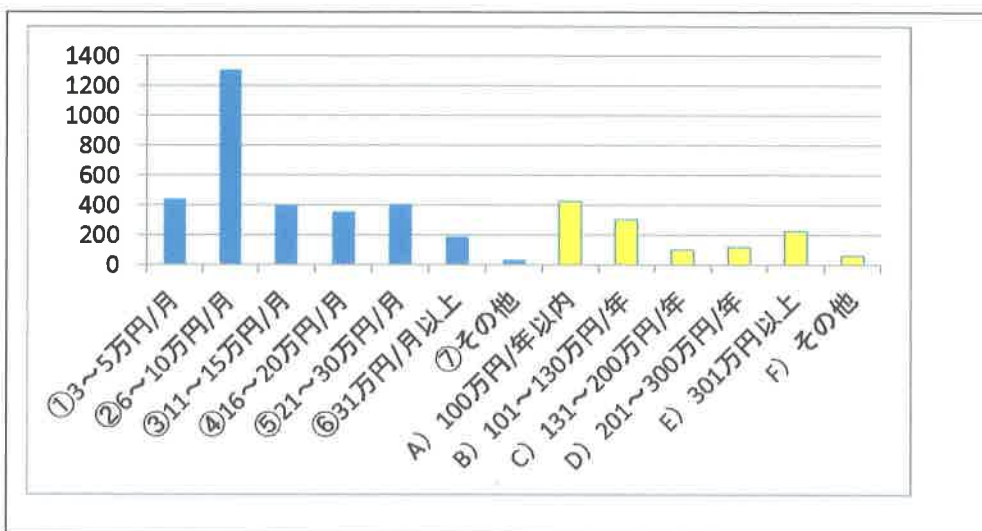
5.働くとしたら、週何日くらい働きたいですか？（対象2）



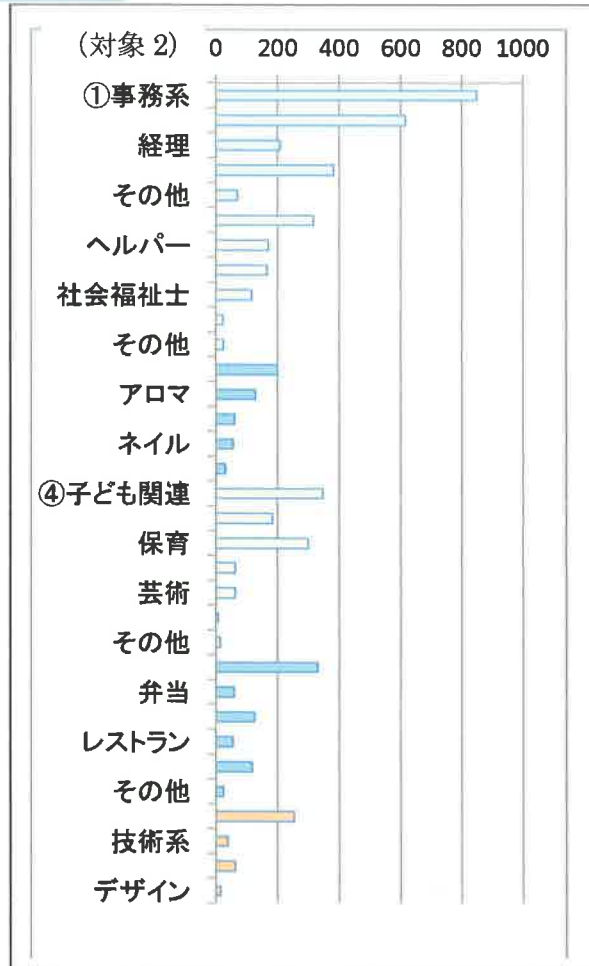
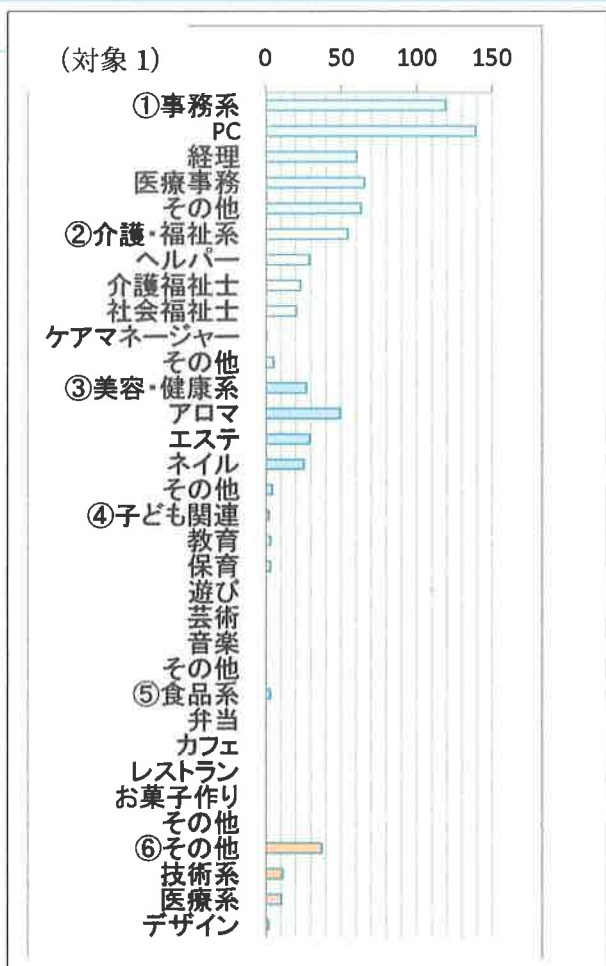
6.働くとしたら、どの位の収入を得たいですか？（対象1）



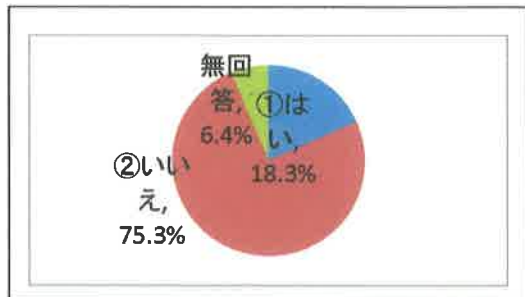
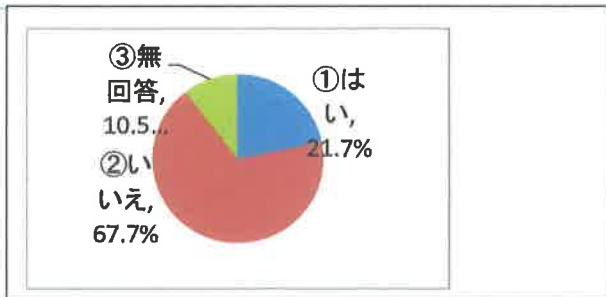
6.働くとしたら、どの位の収入を得たいですか？（対象2）



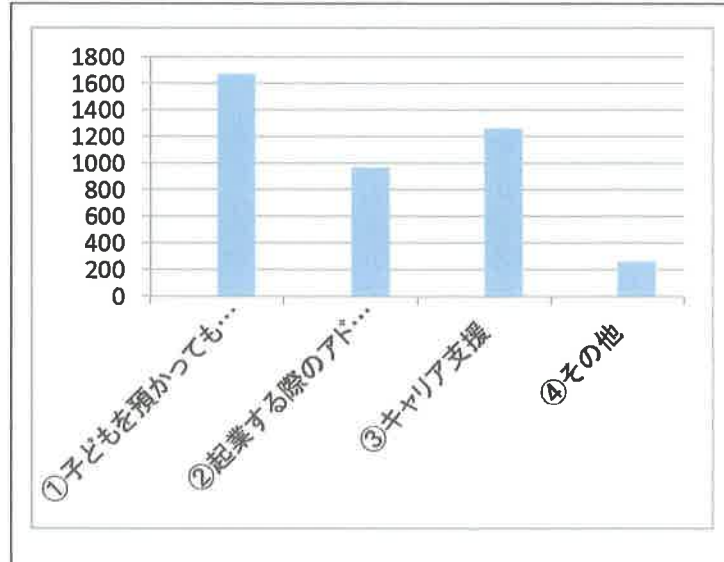
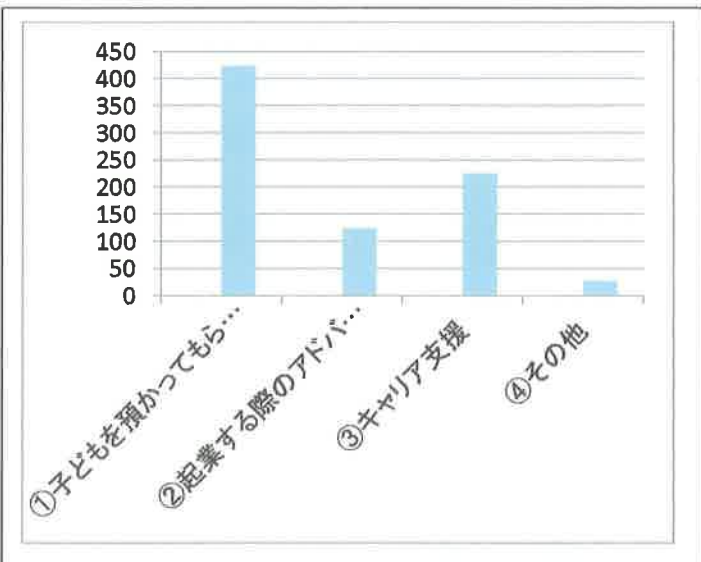
7.仕事をするためにどんな技術を身につけたいですか？



8.一人起業、創業に興味はありますか？
(ex.趣味で創った作品を売ることも創業です。)



9.仕事を始めるために”あったら良いと思うサポート”はどんなことですか？



東京都新しい公共支援事業

女性のための創業支援講座 報告書

女性いきいきチャレンジ応援協議体

講座名；第1回『あなたの気づきをプロデュースする創業支援講座』
～これからの創業・事業 MIX への提案～

開催日時；1月11日（水）9：30～12：00

場 所；日野市新町交流センター

講 師；山根 眞知子氏

- ・NPO 法人 NPO 事業サポートセンター理事
- ・パルシステムセカンドリーグ支援室起業アドバイザー・専門委員

参加人数；19名（応募数22名 応募率110%・参加率95%）

アンケート回収率 74%

1. 目的

創業にあたっての姿勢や考え方、実務に関する基礎的知識を学ぶ

2. 講座の流れ（ワークシートは別紙添付）

※事前に参加者にはワークシート1-①を記入していただき、当日持参していただいた。

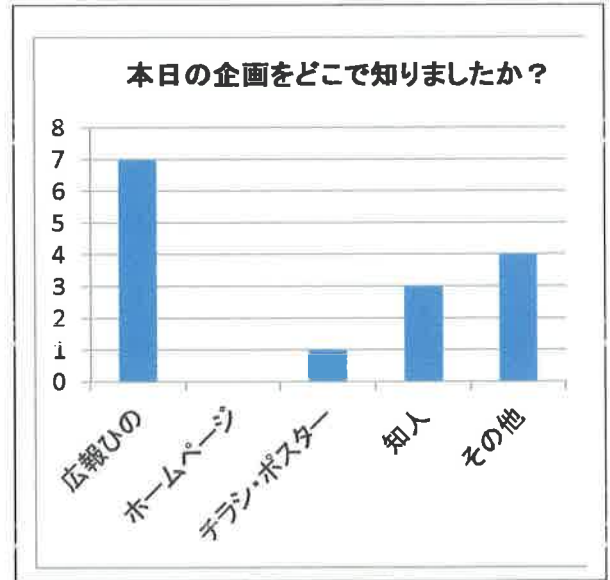
- 1) 講師より創業事例の紹介。
- 2) 事前記入のワークシート1-①を使用してワークシート1および2を記入。
- 3) 参加者同士で自己紹介およびワークシート2の説明。
- 4) ワークシート3を記入。
- 5) 参加者同士の話し合い。
- 6) 本日の作業内容の発表。
- 7) 講座に関するアンケートへの記入・提出。

3. アンケート集計結果

出席者	19名
アンケート提出者	14名

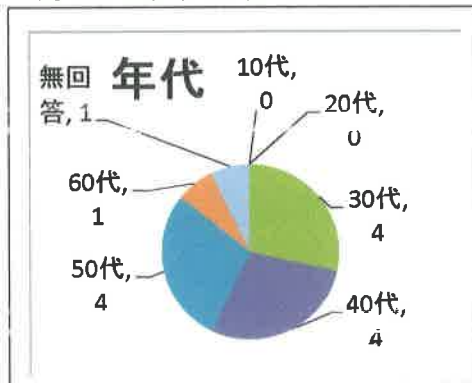
Q 本日の企画はどこで知りましたか？

広報ひの	7名	
ホームページ	0	
チラシ・ポスター	1名	(うち図書館1名)
知人	3名	
その他	4名	(うち日野こども劇場3、他1)



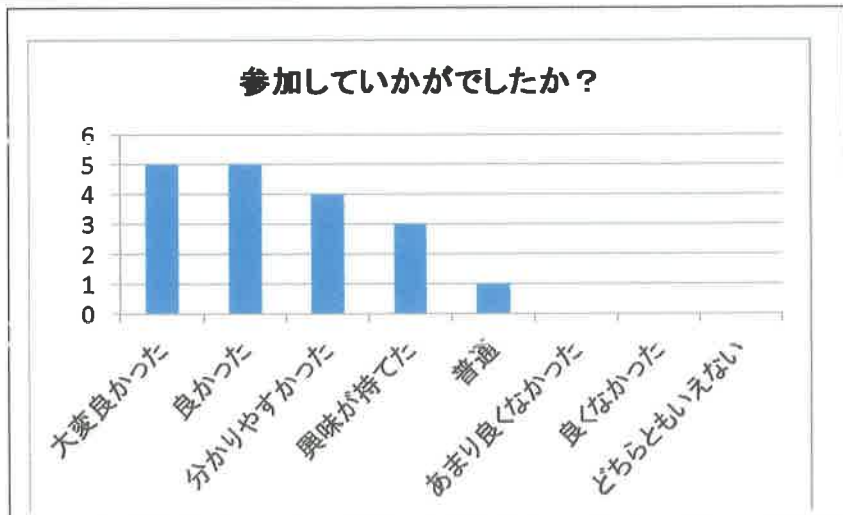
Q 年代は？

10代	0
20代	0
30代	4名
40代	4名
50代	4名
60代	1名
無回答	1名



Q 参加していかがでしたか？(複数回答可)

大変良かった	5名
良かった	5名
分かりやすかった	4名
興味が持てた	3名
普通	1名
あまり良くなかった	0
良くなかった	0
どちらともいえない	0



Q 講座の時間についてはいかがでしたか？

長かった	0
ちょうど良い	11名
短かった	4名

※1名複数回答。

Q どんな分野で創業を考えていますか？

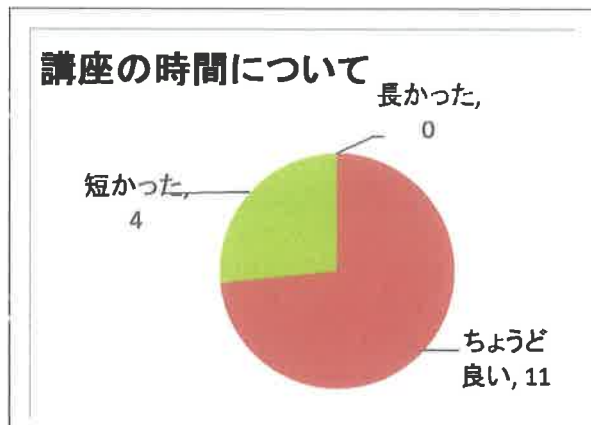
- ・文筆
- ・親子のゆっくり時間と子供との関わりのHOWTOをお伝えすること。
- ・健康と美容
- ・癒しの場の提供
- ・子ども、親子の居場所
- ・サービス
- ・アロマセラピーサロン
- ・幼児教育/福祉(虐待に関すること)

Q 創業するために知りたいことはありますか？

- ・1人でビジネスをする際のヒントや技術など人脈づくり
- ・他のサロンとの差別化について
- ・資金(キャッシュフロー)
- ・仕事でつかえる基礎から始めるパソコン講座
- ・経理
- ・資金集め
- ・どのような届け出が必要か？事前に調べることは？

Q 創業するにあたって不安なことはありますか？

- ・資金面 2名
- ・パソコン技術に不安があるので、スキルアップ講座をお願いします。
- ・よくわからない
- ・家庭、家族のこと
- ・1人で始める場合、体調などにより休まなければならない時の対策は？



4. 総括

講座参加者は非常に熱心で、なおかつ積極的な方が多かったように感じられた。講座終了後、お互いの連絡先を交換する方、講師を呼び止めて話をされる方など、講座受講のみならず、交流を持つ場としても、意味があったと考えられる。

5. 今後の展開

女性のための創業支援セミナー(第2~4回目)として、平成24年度4月~5月に実務基礎(事業資金、税務、経理、労務、その他)講座を開催する。

以上

パネル展示 報告書

女性いきいきチャレンジ応援協議体

① 啓発事業

*2012年2月12日(日)

おかあさん行ってらっしゃい!~女性創業者との交流会~

来場者:126名

内容:アンケート調査結果の展示

② 講座事業

*2012年3月30日(金)

ふれあいホールオープニングイベント

内容:アンケート調査結果・平成23年度協議体事業実施報告の展示

平成23年度活動報告

今後の事業計画(講座案内・イベント案内など)

来場者:348名

アンケート回答者 70名

回答率100%



平成24年度
自主事業に関する
マーケティング調査も
併せて実施。



1、目的

平成 23 年 11 月～平成 24 年 1 月にかけて日野市内で実施した女性いきいき応援事業実施に向けたニーズ調査結果の公表並びに、平成 23 年度活動報告とアンケート調査結果に基づく今後の事業計画の発表。

2、実施回数・・・2回

開催回数率 200% (事業計画では 1 回の予定)

- *平成 24 年 2 月 12 日 (日) おかあさん行ってらっしゃい! ～女性創業者との交流会～
- *平成 24 年 3 月 30 日 (金) ふれあいホール オープニングイベント

3、総括

アンケート結果にみる日野市の女性が求める働くために必要なサービスや就労希望時間、日数などから、ワークライフバランスの側面が如実に表れた。また、何かを始めたい。何かを変えたい! 一歩踏み出してみたいなど社会参画意識の向上傾向も読み取れる。

次年度は、アンケート結果より、一番要望の多かった一歩を踏み出すために必要な場所(初めての教室運営・チャレンジショップなど)の提供を実施していく。

今後の協議体の活動への期待値の高さを肌で感じるもパネル展となった。

東京都新しい公共支援事業

おかあさん行ってらっしゃい！

～女性創業者との交流会～ 報告書

女性いきいきチャレンジ応援協議体

イベント名；第1回『おかあさん行ってらっしゃい！』

～女性創業者との交流会～

開催日時；平成24年2月12日（日）15：00～18：30（14：30開場）

場 所；ひの煉瓦ホール（日野市民会館小ホール）

参加人数； 126名（募集人数100名・参加率126%）

女性創業者；17店舗出店

創業に興味がある参加者77%

1. 目的

- ① 『女性の就労と創業支援事業』のキックオフパーティーとする。創業への夢を抱く女性や漫然と何かを始めたいと考えている女性に対して啓発事業と位置付ける。またすでに起業されご成功されている女性創業者の方々から直接、話を聞くことができ、元気を頂ける集いの場とする。
- ② 『女性いきいきチャレンジ応援協議体』の認知度をあげる。

2. 交流会

1) タイムスケジュール

14:30 ☆オープニング フラダンス&歌
リノ企画 司会；滝瀬栄子さん

司会；菅沼真奈美さん

15:00 開会宣言 男女平等課課長 菅野雅巳
挨拶 日野市長 馬場弘融

☆トークショー「女性創業希望者へのエールを贈る」
田中陽子さん&下重喜代さん

16:30 挨拶 多摩CBネットワーク 堀池 喜一郎さん

～女性創業者との交流会～

18:30 閉会の辞 女性いきいきチャレンジ応援協議体交流部会長 奥住豊

2) トークショー出演者 略歴

◆田中(たなか)陽子(ようこ)さん (暮らしのクラフトゆずりは店主 青森県在住)

1955年青森県生まれ。暮らしのクラフトゆずりは店主。青森・十和田湖畔で89年から青森・秋田・岩手をはじめとする東北地方の伝統工芸品(手仕事)を紹介する『暮らしのクラフトゆずりは』を営む一方、全国を回り、東北の工芸品を紹介している。2011年2月には海外(パリ)でも文化講演と展示会を果たした。

NHK番組「ビジネス未来人」「ラジオ深夜便」等で特集される他、新聞・雑誌等でその活動が取り上げられている。

◆下重喜代(しもじゅうきよ)さん

(サステナブル・アカデミー・ジャパン 代表/日本野外生活推進協会 東京 代表/美しい多摩川フォーラム 教育文化部会長)

広告代理店を経て、「未来社会への井戸端会議」を標榜した全国ネットの季刊ミニコミ誌『AVIS』を主宰。取材・編集を通して、環境、平和、教育・文化、ジェンダーなどの問題に深くかかわり、100号を重ねて幕を閉じる。その後、日本野鳥の会国際自然アカデミー参与として、企業人や子どもを対象とした環境教育プログラムを開発。退職後、「幼児と自然」をキーワードに、スウェーデ

ン発の幼児向け・環境教育メソッド「森のムッレ教室」を主催するなどして、生きとし生けるものとの共生を未来につなげるための活動をライフワークとし、現在に至る。

共著：『幼児のための環境教育～スウェーデンからの贈りもの「森のムッレ教室」～』
『市民版・日野まちづくりマスタープラン』、『楽農宣言』（コモンズ刊）

※トークショーの骨子

日本の伝統工芸品や、日常生活の中で使用している道具たちを、自分らしさ、使い勝手のいい心地よいものに変えて行く。それを女性の視点でビジネスを志し、創業し、成功された田中陽子さんのお話を伺い、女性の創業は、社会や経済に変革をもたらし、新たな地域活性化の言動力になることをアピールし、創業を希望する女性にエールを送る。下重さん自身も起業家であり、ジェンダーについて見識も高くその視点から女性の就労について応援していただくため、田中さんと会場の皆さんとを繋ぐコーディネートを願います。

3) 出店者一覧

※別紙にて資料添付。

3. アンケート集計結果

※別紙にて資料添付。

4. 総括

予定数を上回る来場者があったこと、また短時間で事故もなく終了したことは成功としたい。女性いきいきチャレンジ応援協議体の事業目的である女性創業支援のキックオフパーティーとして、多くの出店者および来場者に来ていただいたことは、協議体として今後の運営に手ごたえと感じた。

トークショーでは、用意した椅子では足りず、立ち見が出るほどの来場者があった。中には感涙して傍聴されていた参加者もおられた。これもひとえに田中陽子さんのお人柄と、その魅力を存分に引き出してくださった下重さんのお力と考える。

田中さんのお話では、創業から今に至るまでのご苦労や職人との信頼関係を築くまでの話、また仕事への思いを語られ、これから創業しようと考えている皆さんの励みになったとおもわれる。

トークショー終了後の交流会では、特定非営利活動法人やまぼうしが用意した軽食がだされ、会場の和やかな雰囲気を出すために有効であった。出店者同士の異業種交流・名刺交換の場となり、また参加者からも直接、創業された方から話を聞くことができ、良かったとの声があった。

反面、時間が遅く、最後まで参加ができなかったとの声もあった。

反省点は今後活かしたい。

5. 今後の展開

第2回『おかあさん行ってらっしゃい！』交流会を平成24年7月ごろ開催予定。

以上

おかあさん行ってらっしゃい! ~女性創業者との交流会~



馬場日野市長



菅野男女平等課課長



田中陽子さん
下重喜代さん
トークショー



女性創業者との
♪交流会♪
NPO法人やまぼうし
提供の軽食



東京都新しい公共支援事業

リンパDE健康

お家DEリンパケア講師養成講座

報告書

女性いきいきチャレンジ応援協議体

講座名；リンパDE健康 お家DEリンパケア講師養成講座

開催日時；2012年3月1日（木）、8日（木）、15日（木）
10時～12時30分（最終日は午後1時まで）

場所；多摩平の森ふれあい館
講師；石塚 あゆみ氏

- ・CIDESCI インターナショナルエステティシャン
- ・職業訓練校 エムアイビューティカレッジ専任講師

参加人数；15名（応募数27名 応募率180%・参加率100%）

アンケート回収率 100%（2回実施）



座学と実技を交えた参加型講座は講評でした。

講師としての疑似体験（ロールプレイング手法も取り入れた講座を実施）



1. 目的

”お家でできるリンパケア”の技術取得および講師養成を主目的とし、講座終了後、受講生それぞれが持っている資格を活かすためのプラスアルファの技術として『石塚あゆみ式 お家Deリンパケア』を普及して頂き、地域の健康推進に寄与することを副次目的とする。

2. 参加資格

- ・日本エステティック協会認定資格者・整体師・健康管理士・各種体操指導員有資格者・スポーツトレーナーなどの有資格者
- ・3日間参加できる女性

※講座受講希望者多数のため、締め切り後、抽選をおこなった。

3. スケジュール

第1回 リンパって…なに？ (3月1日)

① リンパケアとは

《実技》上肢のリンパケア (アイモデル)

第2回 リンパDe健康 (3月8日)

② リンパとむくみ

《実技》下肢のリンパケア (セルフケア)

第3回 リンパDe美容 (3月15日)

③ リンパと健康

《実技》首・肩・頭のリンパケア (セルフケア)

④ 発表会

4. 総括

*医療行為・治療に準じる行為（施術）ではなく、エステのリンパトレナーージュの技術を応用したお家で出来るセルフリンパケアの技術取得講座と位置付けられている事。

*講座終了後にリンパケアリストとしての資格を得ることが出来る講座ではない事を受講生に了承して頂き開講した。

上記を受け、医療行為・治療に準じる行為ではないこと、エステの禁忌事項に当てはまらないことを確認することから毎回開始し、レジュメのコピーの禁止、レジュメのみの配布禁止なども毎回お約束事として伝えた。

講座受講生の年代は、30代から70代までと幅広かったが年齢幅を感じないペアリングが行われ、講師疑似体験（ロールプレー）や相モデルで行う実技演習など盛りだくさんのカリキュラムは、和気藹々の雰囲気の中で行われた。スキンシップと笑顔で参加者が満足出来る講座として、普及が望まれる。

短い時間の中ではあったが、受講生からは学び取ろうとする意欲が感じられた。アンケート結果にもみられるように、今後、さらに内容を深めた講座受講を参加者中86%の希望があった。

インキュベートコーディネーター 養成講座 報告書

女性いきいきチャレンジ応援協議体

講座名：インキュベートコーディネーター養成講座

開催日程：平成 23 年度事業として実施（講座開催日程が平成 24 年度に跨る）

日 時	
3月10日（土） 3月11日（日）	受講生 面接
3月25日（日） 10:00～12:00	オリエンテーション
4月8日（日） 13:00～17:00	ディスカッション「ICとして心掛けるべきこと」
4月22日（日） 13:00～17:00	IC技法演習①「相談者のやりたいことをどう見出すか？」
5月13日（日） 13:00～17:00	IC技法演習②「相談者のやりたいことをどう実現させるか？」
5月27日（日） 13:00～17:00	IC技法演習③「相談者の挫折にどう寄り添うか？」
6月17日（日） 13:00～17:00	受講者の希望の内容/ IC宣言『私はこんな ICになります！』
6月18日以降	シミュレーション演習「実際に相談に乗ってみましょう！」 (個別演習) *講師が相談者になって、実際の相談に乗って頂きます（お一人 50 分程度）

場所：多摩平の森ふれあい館

講師：株式会社 オフィスワン 代表取締役 山田容子

参加人数：17名（15名定員） 参加率 113%

1、目的

創業希望者のニーズに対しての即戦力を担う人材の養成を行い、当事業の持続性・継続性を担保する。

2、総括

当該事業の根幹をなす人材育成事業の為、3月10日・11日に参加者対象の事前面接を実施、参加者それぞれのインキュベーターコーディネーターに対しての想いをヒアリングし、講座内容とのすり合わせを行った。参加者の特性についてエリアグラムを使用し簡易分析し、今後の授業の進め方を講師と共に検討し、きめ細やかな指導体制を構築した。

3月25日に実施したオリエンテーションには、日野CATVの取材もあり、IC養成講座に関してはその後の問い合わせも多く市民の関心の高さを実感している。

平成23年度事業だが、実施日が平成24年度にわたる為、改めて平成24年度にも事後報告を予定している。



男女平等課 菅野課長
あいさつ

講座前半：山田容子講師による
座学（ICの仕事の認識統一化）



講座後半：受講生による
＊1分間スピーチ&30秒判断
2分間スピーチ など
コーディネーターとして必要な
時間感覚の体感と人間洞察力の
実践



日野CATV 取材

東京都新しい公共支援事業

インキュベーター・コーディネーター 養成講座 報告書

女性いきいきチャレンジ応援協議体

講座名；インキュベーター・コーディネーター養成講座
開催日時；面接 2012年3月10日（土）、11日（日）
講座 2012年3月25日（土）10時～12時
4月8日（日）、4月22日（日）、5月13日（日）、
5月27日（日）、6月17日（日）
13時～17時（最終日は午後1時まで）

場 所；多摩平の森ふれあい館
講 師；山田 容子氏
オフィス ONLY ONE 代表・人財コンサルタント

参加人数；16名

Q チャレンジショップ・ワンコイン教室の事業について

分類	人数(人)	割合(%)
創業・起業する人にとって、必要な事業である。	12	63.2%
必要な事業ではない。	0	0.0%
どちらとも言えない。	0	0.0%
利用してみたいと思う。	7	36.8%
利用してみたいとは思わない。	0	0.0%
その他	0	0.0%
回答総数(複数回答)	19	100.0%

QICの仕事に必要なシステム・仕組みについて

- ・もっと練習の場があれば。
- ・大学で募集。
- ・IC相談日を作ってもらうことはできますか？
- ・ネットで相談者を募集する。
- ・日野の公的な機関に告知する。
- ・実践あるのみでしょうか。
- ・相談例など文書化されていれば読んでみたいです。
- ・どんなシステムでお仕事するのかわからないので何
- ・事前アンケート。
- ・リラックスできる空間づくり。

1. 目的

インキュベーター・コーディネーター（IC）の育成を目的とする。

ICとは、女性が創業・起業への一歩を踏み出す際の道先案内人の役目を担当する。創業の目的、目標を決定するまでを担当し、その後は、それぞれのニーズに合わせたコーディネートを行い、中小企業診断士、金融機関に所属するインキュベーターマネージャーなどの専門職につなぎ、相談者の目的達成のためのサポートをする。

講座はコーチング・ディスカッション形式で行い、受講生が自主的に演習に参加するワークショップを中心に展開する。特に傾聴訓練に重点をおき、ICとして相談を受けられる力を養成していく。

2. 参加資格

規定なし。

ただし、受講希望者の特性を知る為、講師による事前面接を受けることを必須とし、エニアグラムによる診断を行った後、講座を開講した。

3. 認定者数

受講者数	16名
面接試験受験者	15名
認定者数	6名

4. スケジュール

総講座時間数；24時間

<事前面接> 3月10日（土）、3月11日（日）

<オリエンテーション> 3月25日（日）

<第1回> 4月8日（日）

- ・受講生自身のことを知る→エニアグラム診断
- ・傾聴技法、相槌・頷き、繰り返しの訓練

<第2回> 4月22日（日）

- ・繰り返し、質問技法の訓練

<第3回> 5月13日（日）

- ・質問技法、要約技法の訓練

<第4回> 5月27日（日）

- ・要約技法、目標設定技法の訓練

<第5回> 6月17日（日）

- ・ICの実際（モデルセッション）
- ・IC技法の復習

<面接試験> 6月24日（日）、6月25日（月）、7月1日（日）、7月2日（月）

4. 総括

受講者の意識がとても高く、毎回の講座の欠席率が非常に低かった。(1人もしくは欠席者なし)
受講者は自分の意見を言わないこと、また傾聴方法と相談者の想いを引き出すための様々な技法について、訓練を受けた。

アンケートの結果にもみられるように、講座開催時間への要望はあったが(一回の講習時間が4時間と長かった)、受講生の講座への満足度は高く、継続しての技術アップ講座の開催希望もあった。

傾聴訓練は今回の講座のみで終結するものではなく、日々の訓練が必要ということは受講生が一番認識しているものと思われる。

合格者に対しての場合今後は定期的なICとして傾聴の場の提供が課題と考える。

5. 写真



東京都新しい公共支援事業

私らしい仕事を作り、ワークライフ バランスを実現するための 女性の創業応援講座 報告書

女性いきいきチャレンジ応援協議体

講座名；私らしい仕事をつくり、ワークライフバランスを実現するための
女性の創業応援講座

開催日時；2012年4月14日（土）、28日（土）、5月12日（土）、26日（土）
10時～13時

場所；多摩平の森ふれあい館

講師；山根真知子氏

・NPO法人NPO事業サポートセンター理事

・パルシステムセカンドリーグ支援室起業アドバイザー・専門委員

参加人数；18名

Q.受講理由

- ・起業を考えている。
- ・サロンを創業したい。
- ・創業を具体的なイメージにしたかったため。
- ・自分の起業プランをより具体的にしたかったため。
- ・どのような起業を始めようとしているのか、興味があった。
- ・起業者を応援するための勉強。
- ・何かを始めたいが、何をしたいのかを探し知るため。
- ・思い考えていることが事業として成り立つのか知りたかった。
- ・人の為、自分の為、何かをはじめたかった。

Q.チャレンジショップ・ワンコインについて

分類	人数 (人)	割合(%)
起業を考えている人にとって、必要な事業である	11	68.8%
必要な事業ではない	0	0.0%
どちらとも言えない	0	0.0%
利用してみたいと思う	5	31.3%
利用してみたいとは思わない	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	16	100.0%

1. 目的

自分がいる環境の中、創業に生かせる資源にはどのようなものがあるか、自分の身の丈に合った事業を展開するための「HOW TO」事業計画の立て方を学ぶことを主目的とする。講座終了後、希望する受講生にチャレンジショップやワンコイン・トライアル教室で出店・講師体験をして頂き、創業の足がかりとする事を副次目的とする。

2. 対象

- ・創業を希望する方
- ・何か始めてみたい方

*原則4回全て受講できる方を対象

3. スケジュール

第1回 「ビジネスプランを考える」(4月14日)

- ① 創業の思いを確認し、事業コンセプト、具体的な商品・サービスを考える

ワークショップ：配布用紙に事業コンセプトや提供したい商品・サービスをポストイットに書き出し、貼っていく。張ったものをジャンル分けする。課題の整理と事業ビジョンの整理を行う。その後、事業によってどんな課題が達成されるか・サービス・商品の組み合わせ(事業MIX)等を考え、表にまとめていく。受講生同士で発表してシェアする。

第2回 「事業計画書を作成する1」(4月28日)

- ② マーケティングを学びながら事業内容を固める。

*事例：「NPO法人 高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会」代表理事 紀平容子氏の話を聞く
ワークショップ：事業計画書に事業概要を作成。販売計画、サービス利用対象者・マーケティング方法を考え、事業計画書の販売計画も作成。受講生同士で発表してシェアする。

第3回 「事業計画書を作成する2」(5月12日)

- ③ 創業資金の集め方、助成金・補助金の獲得方法を学び、事業計画を完成する

ワークショップ：開設費用・運転資金・必要な資金の計算・損益計算書・売上について配布用紙に沿ってまとめる。まとめたものを事業計画書に転記する。受講生同士で発表してシェアする。

第4回 「事業計画書の発表」(5月26日)

- ④ 発表会

受講生が事業計画を発表。内容について山根真知子氏・男女平等課の菅野雅巳課長がコメントした。

4. 総括

*2012年1月11日に行われた「私自身の棚卸し講座」に続く内容である。

*受講生はワークショップを通して新たな気づきを得て、自分の思いを具体化して、事業計画書を完成させた。和気あいあいとした受講生同士の交流も生まれ、今後のネットワーク作りの一助となった。

*受講アンケートより、「盛りだくさんな内容で、創業までの過程が資金面も含めて具体的に見えてきた」という内容の声が多かった。

*短い時間の中ではあったが、受講生からは学び取り、自分の思いを形にする為の意欲が感じられた。アンケート結果にもみられるようにエクセル・税金・開業届などの起業にまつわる具体的な内容の講座の要望や、受講後に協議体への相談体制を希望する声が多く、今後も協議体の支援が望まれている。

*受講生の年代は、30代から60代までと幅広く50代の方が中心だった。

*授業を欠席した受講生のうち希望者に対し、フォローアップ講座(講師 菅沼真奈美氏)を行った。

*チャンプルーの会 初夏のランチ会は受講者の希望により企画したが、最低催行人数に至らなかったため中止となった。

*受講生は事業計画書を作成し、講師から講評により、事業計画の実現性が高まった。

5. 結果と今後

・受講生の中から4名、協議体のワンコイン・トライアル教室の講師やイベントでの出店者(予定も含む)となり、創業の足がかりとなった。他の受講者も含めて、今後も創業のためのステップアップが期待され、協議体としても支援していきたい。

《4月14日》



《4月28日》NPO法人 高齢者の食と職を考える チャンプルーの会 紀平紀子氏



《5月12日》



《5月26日》コメンテーターとして山根真真子氏・日野市 企画部男女平等課 課長 菅野雅巳氏



再就職応援講座

あなただけの魅力度 UP！

メイク講座報告書

女性いきいきチャレンジ応援協議体

<日時> 平成24年6月26日(火)
 ①個性を活かした決めメイク編 10時～12時
 ②面接にはえる5歳若返りベースメイク編 13時半～15時半
 <場所> 多摩平の森ふれあい館
 <実費> 300円(基礎化粧品代)
 <講師> 福田祐樹氏

ヘアメイククリエイター
 山野愛子美容専門学校アップ講習講師
 美容室アンティムサブチーフスタイリスト

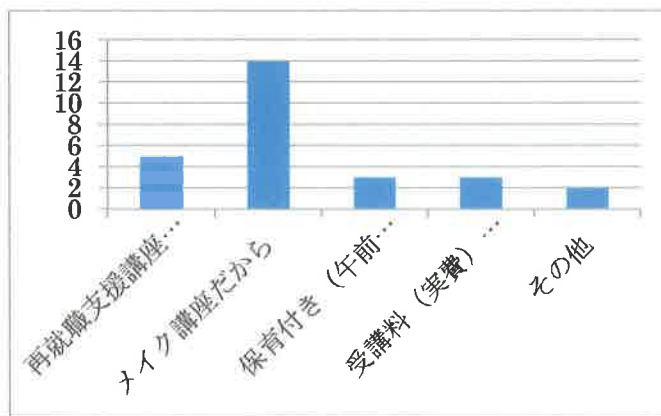
<参加者数>

①個性を活かした決めメイク編	7名
②面接にはえる5歳若返りベースメイク編	13名
合計	20名

【講座について】

分類	回答数	割合
良かった	18	100%
ふつう	0	0
悪かった	0	0
回答総数	18	100%

【講座受講動機】



【受講生の声】

- ・ていねいに1人1人教えてください、勉強になりました。
- ・メイクのポイントがわかりました。2人とも先生がとても親切でした。更にイケメン！
- ・1人1人に自分の化粧品を使って実際にやってみて頂けたので、大変参考になりました！
- ・自分にあうメイクの色味、ポイントがわかったのがとてもよかったです。
- ・個人に合わせた話がきけたこと。
- ・とてもていねいに指導していただき、よく理解できた。
- ・スキンケアの仕方が大変参考になりました。
- ・ベースメイクの大切さ、大事なポイントがよくわかった。 ・もう少し時間があるとよかった。
- ・アイライナーの仕方とリップの塗り方を教えてほしかった。

1. 目的

再就職を目指す女性にとって、第一印象を決める履歴書の写真および面接時におけるメイクアップはモチベーションを高めるために自らにとっても重要な要素となる。自分の魅力を引き出し、より良い自分を見せる手法をプロから教えてもらうことにより、自信をもって再就職に向けてチャレンジしてもらうことを主目的とする。

また、再就職を目指す女性同士の交流の場、および情報交換の場とすることを副次目的とする。

2. 講座内容

①個性を活かした決めメイク編

・ナチュラルアイメイク方法

受講生が日常で使っているメイク道具を使用し、自然に見えるシャドウの入れ方、見せたい自分の印象をつくるアイメイクの作り方等を教わった。

・好印象のチークの入れ方

・眉の形

②面接にはえる5歳若返りベースメイク編

・基礎化粧品の効果的な使い方

・リフトアップしてみえるベースメイクの方法

・ナチュラルアイメイク方法

3. 総括

午前の講座では主に保育を必要とする年齢層、午後は保育を必要としない年齢層が集まった。アンケートの結果からも推察されるように、講師の指導がいきわたる少人数での講座だったため、とても受講生の満足度が高くなった。次回の講座への開催希望も見て取れる。

講座の中では、受講生から「自分はこんな印象を面接官にあたえたい。」といった要望も出され、講師は一人一人の要望に対して丁寧に応えられていた。伴に楽しみながらまた和やかな雰囲気の中で、いつもとは違ったメイクアップを学ぶことができ、自分の新たな発見につながったと思われる。

4. 写真



日野市企画部男女平等課 課長 菅野 雅巳氏 挨拶



パネル展及び 日野市役所・本庁内アンケート調査 報告書

女性いきいきチャレンジ応援協議体

パネル展

<日時> 平成24年5月～
<場所> 多摩平の森ふれあい館

市役所内 認知度アンケート調査

<日時> 平成24年6月19日(火)
<場所> 日野市役所・本庁 会議室101
<アンケート回答者数> 66名

【パネル展パネル】



1. チャレンジサポート

【認知度調査結果】

【パネル展】

【アンケート調査】



2. 創業支援講座

【認知度調査結果】

【パネル展】

【アンケート調査】



3. 能力開発講座
技術者講座

【認知度調査結果】

【パネル展】

【アンケート調査】

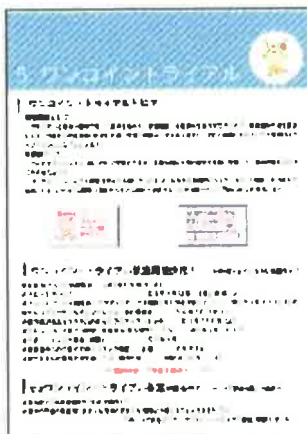


4. 内職専攻講座

【認知度調査結果】

【パネル展】

【アンケート調査】



5. 子育てサポート

【認知度調査結果】

【パネル展】

【アンケート調査】



6. インキューブコーディネーター

【認知度調査結果】

【パネル展】

【アンケート調査】



7. Herstory 応援団

【認知度調査結果】

【パネル展】

【アンケート調査】



8. 交流会

【認知度調査結果】

【パネル展】

【アンケート調査】

1. 目的

女性いきいきチャレンジ応援協議体の認知度アップを目的とする。協議体の活動趣旨および事業内容の周知をはかる。

また日野市役所内で職員に対する協議体認知度をはかり、今後の活動につなげていく。

2. 総括

女性いきいきチャレンジ応援協議体の認知度をあげるために、多摩平の森ふれあい館の1階～3階の廊下壁面を使いパネル展をおこなった。多摩平の森ふれあい館の使用可能な壁面全てを使用したことにより、ふれあい館利用者へのアピール度はあがったと考えられる。

また日野市役所本庁内での職員に対するアンケートは、男女共同参画週間に合わせて行った。また事前に職員用掲示板においてパネル展の周知を図った。

アンケート結果から市役所職員に対する現在の認知度は25%程度であった。今回のパネル展で協議体の名前と共に、活動趣旨・活動内容がわかったという意見もあった。

今回のアンケート結果から今後の課題としては、協議体の事業を軌道に乗せていくと同時に広報活動の手段・あり方を再考する必要があると思われる。

3. 写真

<多摩平の森ふれあい館>



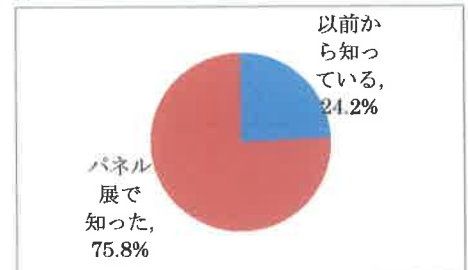
<本庁内アンケート調査会場>



【アンケート結果】アンケート回答者数 66名

●女性いきいきチャレンジ応援協議体をご存じでしたか？

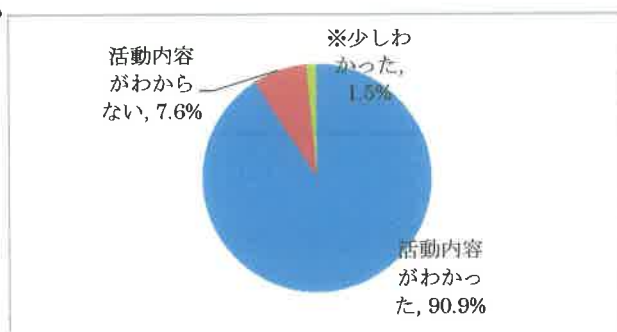
分類	回答者数	割合
以前から知っている	16	24.2%
パネル展で知った	50	75.8%
	66	100.0%



【アンケート結果】

●本日のパネル展をご覧になっていかがでしたか？

分類	回答者数	割合
活動内容がわかった	60	90.9%
活動内容がわからない	5	7.6%
※少しわかった	1	1.5%
	66	100.0%



2012.6.19 本庁パネル展

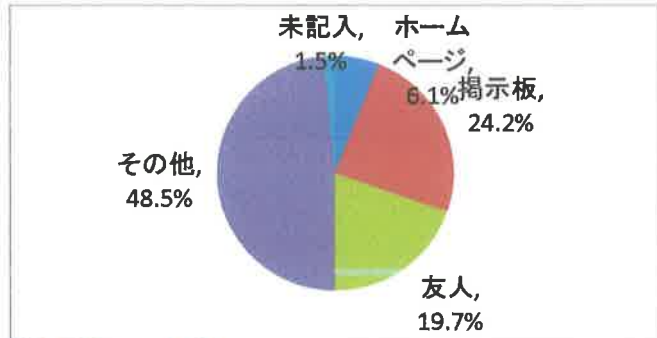
アンケート集計結果

アンケート回答者数

66名

●本日のパネル展をどこでお知りになりましたか？

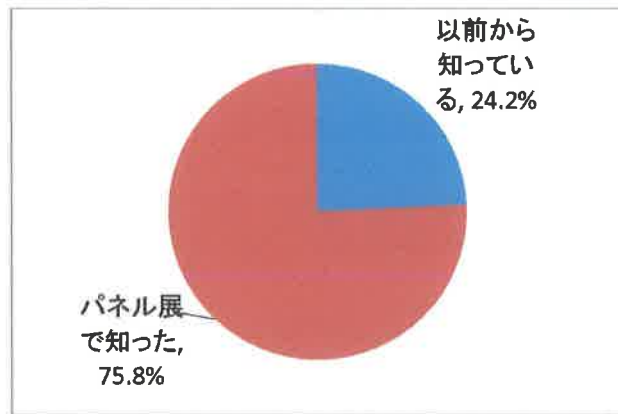
分類	回答者数	割合
ホームページ	4	6.1%
掲示板	16	24.2%
友人	13	19.7%
その他	32	48.5%
未記入	1	1.5%
	66	100.0%



※その他 現地に来て
広報

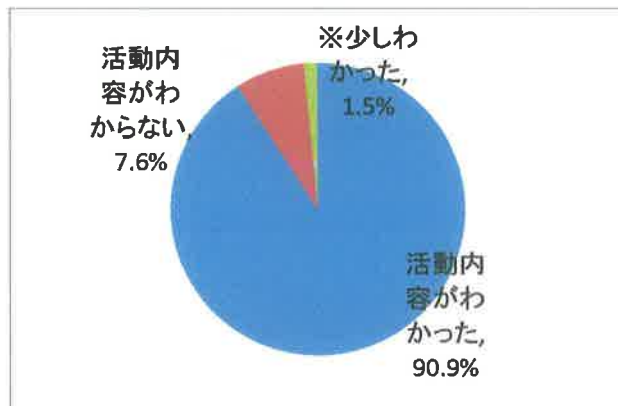
●女性いきいきチャレンジ応援協議体をご存じでしたか？

分類	回答者数	割合
以前から知っている	16	24.2%
パネル展で知った	50	75.8%
	66	100.0%



●本日のパネル展をご覧になっていかがでしたか？

分類	回答者数	割合
活動内容がわかった	60	90.9%
活動内容がわからない	5	7.6%
※少しわかった	1	1.5%
	66	100.0%



●女性いきいきチャレンジ応援協議体の活動にご意見、ご要望がありましたらお聞かせください。

- ・今後もがんばってください。
- ・女性の支援の場が提供できてよいと思います。
- ・特になし。
- ・広報等で随時、アピールをするべきです。
- ・気軽にグループの中に入れるしくみ(雰囲気)があると、たくさん集まるのでは？
- ・楽しい企画がたくさんあると知りました。ぜひ参加したいです。

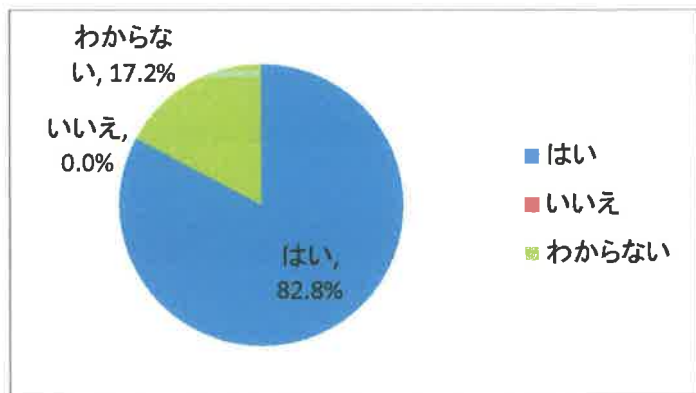
- ・興味があります。これからも活動の内容を発信して下さい。
- ・広報活動を広げた方がよいのでは？あまり知らなかったもので…。
- ・21歳の娘がおりますが、現在体調不良で自宅療養中です。今後の社会復帰に相談できる場所なのかなと思い、興味深く見させていただきました。
- ・がんばってほしい。
- ・がんばってください。応援しています。
- ・パネルを見るだけではわかりづらいが、説明を聞いて理解できた。
- ・活動内容、活動趣旨のPRをし、支援を求めている女性に情報提供を！
- ・言葉がわからない。なじめない。
- ・もう少しわかりやすく情報発信できないものか？

●女性いきいきチャレンジ応援協議体に今後取り組んでほしい事業(活動)がございましたら、ご記載ください。

- ・職人見習い展とかをやってほしい。(見習いの職人さんが作る工芸品やお菓子などを安く販売)
- ・公民協催につながるようなこと。
- ・特になし。
- ・国体ボランティアと市制施行50周年関連事業への応援
- ・国体開催を契機として、各地からくる人たちに何かおもてなしの活動ができればいいなと思います。
- ・これからも継続的に活動を続けていってください。仲間を増やして、参加者が増えるといいですね。
- ・第一歩目を踏み出す手助け。

●女性いきいきチャレンジ応援協議体の活動を応援していただけますか？

分類	回答者数	割合
はい	53	82.8%
いいえ	0	0.0%
わからない	11	17.2%
	64	100.0%



創業応援講座

本気で創業！全国創業塾 人気ナンバーワン 講師によるマーケティング講座 報告書

女性いきいきチャレンジ応援協議体

<日時> 平成24年7月2日(月)、7月9日(月)、7月23日(月)：10：00～12：00

<参加者数>

<場所> 多摩平の森ふれあい館
<受講料> 各回 1000円(資料代を含む)
<講師> 竹内幸次氏
中小企業診断士
株式会社スプラム代表取締役

7月2日(月)	23名
7月9日(月)	23名
7月23日(月)	17名
合計	63名

1. 目的

主要な販売・マーケティングのツールの一つとして、ネット等を利用したWebは必須になりつつある。これから創業を考えている人、あるいは創業したもののWebツールを使いこなせていない人を対象に、今回の講座においてすぐに使えるWebの有効な活用方法を学んでもらうことを目的とする。

2. 講座内容

第1回 WEBマーケティング

マーケティングの基本とWebマーケティングの始め方

第2回 ネットショップ開店・SEO

低予算でのネットショップ開店と自分で行うSEO

第3回 フェイスブックで販路拡大

フェイスブックでファンを増やして顧客につなげる

3. 総括

実践的に即利用可能な内容が多く、かつスピード感のある講座だった。アンケート結果にもみられるように、講座内容はとてもわかりやすく次への期待感を持たせる内容となっていた。しかしながら、もう少しゆっくりとしたスピードと講座回数を増やしてほしいという要望もあった。

具体的事例を使っただけの内容が多かったため、実際に受講生が実践した場合のフォローアップ講座の必要性を感じた。また、創業希望者・創業者が同じ目的を持ち集まったので、講座開催時およびフォローアップもかねて交流会を設定することが必要だったのではないかとと思われる。

4. 写真



2012/7/2

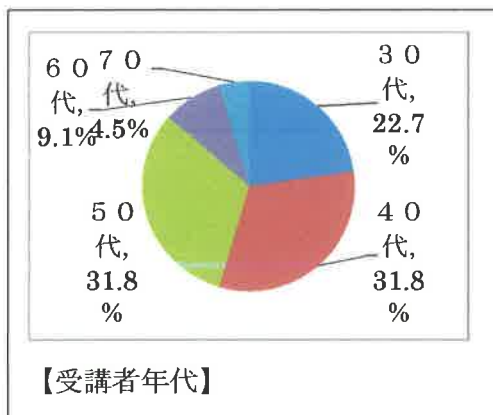
受講者数	23名
アンケート回答者数	22名
回収率	95.7%

2012/7/9

受講者数	23名
アンケート回答者数	23名
回収率	100%

2012/7/23

受講者数	17名
アンケート回答者数	17名
回収率	100%



分類	回答者数	回答率
内容が期待通りだった	9	22.0%
創業に役に立つ内容だった	11	26.8%
具体的で役に立つ内容だった	13	31.7%
内容が総花的だった	3	7.3%
内容が期待外れだった	0	0.0%
取り上げたテーマが良かった	4	9.8%
他のテーマも取り上げてほしかった	0	0.0%
その他	0	0.0%
未記入	1	2.4%
回答総数	41	97.6%

【講座テーマ・内容について】（複数回答可）

【受講動機】

- ・夢の実現に向けて。
- ・新たな一歩を踏み出すために。
- ・現在、創業中でその中で経営の悩みを解決できるヒントを得たいと受講した。
- ・ネットで創業したいと思ったため。
- ・Webマーケティングをしたい。興味がある。（4名）
- ・インターネット上でマーケティングの仕方を聞いたかったから。
- ・将来的に創業を試してみたいため。（5名）
- ・仕事の参考になると考えて。
- ・自宅起業のチャンス有。ノウハウをためたいから。
- ・Webマーケティングのお話が聞けると思ったから。
- ・「創業してみたものの…」という行き詰まりを感じている。またとても興味があるが、いま一つ手が出せないのがWebだったので、受講した。
- ・仕事のレベルアップに役立ちそうだと思います。
- ・ホームページを以前つくってあったのですが、諸事情でなくなったので、
- ・ブログやホームページをうまく利用したかった。
- ・ネットショップ・販売に興味がある。（2名）
- ・WEBに関して疎いので勉強してみたかった。
- ・WEBマーケ、SEO、Facebookについて知りたい。

【受講生の声】

- ・短時間にぎゅっとたくさんの内容を教えていただき、ありがとうございました。とても楽しかったです。
- ・テンポの良い講義で、楽しい時を過ごせた。
- ・WEB 環境への初心者にもわかりやすく、がんばってみたいと思えました。
- ・スピード感があり、とても楽しく学びました。
- ・お名前も存じ上げませんでしたが、市の講座としては思った以上の講義内容でした。
- ・すばらしい講師をお招き下さり、ありがとうございました。
- ・とても参考になりました。すばらしい企画ですね。またやって下さい。
- ・展開が速いですね。続編を希望します。
- ・連続して、また講座を企画してほしい。
- ・受講した人のネットワークがとれていくことができれば、そのしかけがほしいと思います。
- ・具体的な機能・考え方が参考になった。
- ・マーケティングの現状を知る点でとてもわかりやすく、勉強になりました。
- ・このような機会があったら是非、また参加したいと思いました。
- ・竹内先生のお話をもっと聞きたいです。
- ・具体的な話など聞けて良かった。
- ・実際にやれるようなアフターフォローの講座がセミナー後の時間があればよいと思います。
- ・「10万円でもりっぱな創業」にとっても元気になりました。早速、先生のブログをみます。
- ・Q&A の時間がほしい。/質問時間がほしかった。
- ・各々のメンバー同士の交流などがあると、ネットとは別の生のコミュニケーションがもてると楽しく、励みにもなると思っています。

【今後開催希望のテーマ・講師等】

- ・企業への自分の仕事の売り込み方。
- ・OA 関係のサポートをしてほしいと思います。
- ・いろいろな方をさらに呼んでいただいて、どんどん開講してください！
- ・大パフォーマンス学の佐藤先生、お会いしたいです。
- ・FP 講座・ FB の初歩も教えてほしい。
- ・お金の管理
- ・竹内幸次先生で続講座を希望します。おしめない情報提供がとても勉強になりました。

【講師への質問】

- ・ 今現在、専業主婦なので Facebook に書くことも日常の子育てネタが中心になってしまうが、続けることで今後の仕事のブログや HP 制作につながるか。
- ・ 実名で不安。マイナス面は？
- ・ 時間が許す限り、たくさん情報を教えてください。
- ・ 小さな企業、もしくは HP をもつ個人が、FB で、どう HP での売り上げ UP につなげていけばよいのか？
- ・ 何を食べた、どこに行った、子供がどうしたなど日常的なことを書いてはいる。そうして繋がっている人たちは確かにうれしく、楽しいのですが、それが自分のビジネスにつながっていく確信がもてない。やはりビジネスタARGETとして意識して”友達”を増やすことが必要か？

子育てキャリア講座 報告書

女性いきいきチャレンジ応援協議体

<開催日時> 座談会 2012年7月17日(火) 11時～13時
 キャリア講座 2012年7月24日(火) 11時～13時
 7月31日(火) 11時～13時

<場所> 多摩平の森ふれあい館

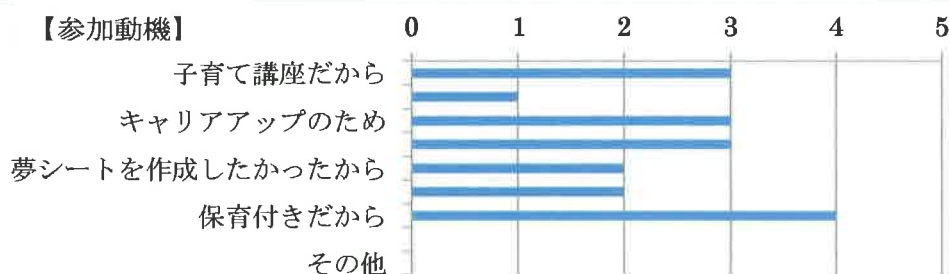
<講師> 山田 容子氏

オフィス ONLY ONE 代表・人財コンサルタント

<参加者数>

7月17日(火)	12名
7月24日(火)	4名
7月31日(火)	7名

【参加動機】



分類	回答数	割合
ICが参加をされていて、大変良かった。	8	66.7%
ICが参加をされていて、良かった。	4	33.3%
ICは参加をしていなくてもよかった。	0	0
ICが参加する理由がわからなかった。	0	0
その他	0	0
合計	12	100.0%

【IC (インキュベーターコーディネーター) がファシリテーターとして入った感想】

- ・ 自分の夢に対してあまりつきつめていなかったもので、この講座を受講しどうしたいのか、どうしていくのかというものがはっきりわかったので良かったです。
- ・ 夢を話すことで背中を押してもらうことができました。
- ・ 自分のことが少し明確になってきたようでした。もう少しアドバイスのものを頂きたかったです。
- ・ 自分の夢の整理ができて良かった。
- ・ 駆け足ながらコーチングを知れて興味深かった。
- ・ キャリア講座やコーチングだけだとあやしい感じだけど、”子育て”がつくだけで参加しやすくなるなと思いました。
- ・ 自分のやりたい事を見つけたいと思い参加したのだが、最終的になんとなく今やるべきことが見つかってよかった。
- ・ 自分の環境をオープンにすることで、情報など集まることもよくわかりました。

1. 目的

子育て中は、キャリアブレイク中の女性にとっては焦りと社会にひきめを感じる時でもある。何かをしたい、何かを始めなければと考えている女性は多く、『このままでいいのか?』『これから何ができるのか?』など模索している人も多い。

よって子育て中の女性を対象に、キャリアブレイク中の今にしかできないことを見つけてもらい、子育てもキャリアだと認識できるような自己啓発を行い、今後のキャリア形成ならびに人生目標を立てることを目的とする。

また同じような子育て中の年代の女性が集まり、今後のことを考えていく中で交流を深めてもらうことを副次目的とする。

2. スケジュールおよび内容

<7月17日(火)> 子育て座談会

グループに分かれて、それぞれ話をする。インキュベート・コーディネーターがファシリテーターとして入り、それぞれの悩みや思いを引き出す手助けをする。

<7月24日(火)>

これまでの人生の振り返りや自己分析を行う。

<7月31日(火)>

これからの自分を思い描き、目標をたて、今からできること・今だからできることを発見し、今後のステップアップにつなげてもらう。

3. 総括

座談会では、インキュベート・コーディネーター(IC)が参加した。ICは先輩女性として、あるいは同じ子育て中の女性として加わったことにより、参加者からは好意的な意見がだされた。

第2回・第3回は、自分を見つめ直しこれからを考える内容となった。アンケート結果からも、今やるべきことが分かったという意見もだされていた。

本講座は、今やるべきことがわかったならばその後自分の目標にむかって、どのような形で実現していけるのかフォローすべきだと考える。

4. 写真



再就職応援講座 自信を持って就職活動！

エクセル習得講座 報告書

女性いきいきチャレンジ応援協議体

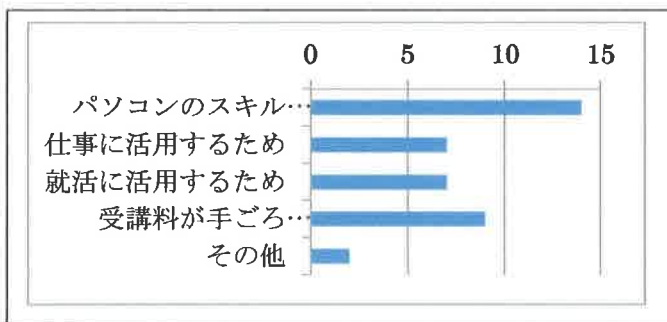
<日時> 平成24年7月5日(木)、7月12日(木)、7月19日(木)
7月26日(木) 8月2日(木)、8月9日(木)
いずれも9時半～12時

<場所> 豊田駅北交流センター 生涯学習室1・2
<受講料> 1500円(全6回資料代・USB代を含む)
<講師> 柳下 百合子氏
NPO法人 シニアネットクラブ

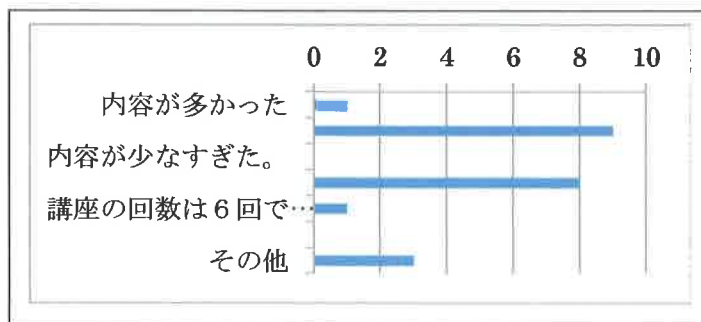
<参加者数> 延91名
講座終了後、就職された受講生4名。

7月5日(木)	15名
7月12日(木)	15名
7月19日(木)	17名
7月26日(木)	16名
8月2日(木)	13名
8月9日(木)	15名
合計	91名

【受講動機】



【6回講座の内容について】



【受講生の声】

- ・エクセルの楽しさがわかりました。
- ・毎回、とてもわかりやすく、エクセルだけではなくPCにもとてもなれることができました。
- ・女性だけで同じくらいのレベルなので、気が楽でした。
- ・お手伝いして頂いてできたことも多く、もう少しゆっくり、この場で習得したかったです。
- ・繰り返し例題ができると思った。 ・中級から上級編をぜひ！
- ・講師の先生説明がとても分かりやすかったです。またお願いしたいと思います。
- ・もう少し回数を増やして、応用とかを入れていただけたらともっと良いと思いました。
- ・パワーポイントの講座も開催してほしいです。 ・大変安価で、丁寧に教えていただいて助かりました。
- ・休んだところをフォローしていただけたらと思います。
- ・もっとこのような機会(价格的にも)があればまた参加したいです。 ・もう少し回数を増やしてほしいです。
- ・これからの仕事に大変役立ちそうです。ありがとうございます。
- ・独学でExcelをしようと思ってもよくわからなかったのが、今回参加させていただいてとても勉強になりました。

1. 目的

再就職を希望する方向けの講座であり、パソコン（エクセル）技術を習得して再就職に活かすことを支援し、エクセル初心者を対象に、今回の講座においてすぐに使えるエクセルの使用方法を学んでもらうことを目的とする。

2. 講座内容

- <第1回> 7月5日（木） Excelの概要・基礎
- <第2回> 7月12日（木） データの修正
- <第3回> 7月19日（木） 関数
- <第4回> 7月26日（木） 関数・ワークシート操作
- <第5回> 8月2日（木） グラフ作成
- <第6回> 8月9日（木） データベースの利用

3. 総括

初心者がパソコンやエクセルに親しむことのできるように配慮された講座だった。講師サポートとして助手2名による個別指導も行われ、受講生のレベルに合わせたきめ細かい指導が好評であった。受講生は熱心に一つ一つの課題を学習していた。

アンケート結果にもみられるように、講座内容はとてもわかりやすく次への期待感を持てる内容となっていた。しかしながら、もう少し講座回数を増やして欲しい、今回の基礎講座を踏まえて、今回は応用編もして欲しいという要望もあった。

4. 写真



講師：柳下百合子氏

再就職応援講座

女性のための再就職応援セミナー

面接対策講座

報告書

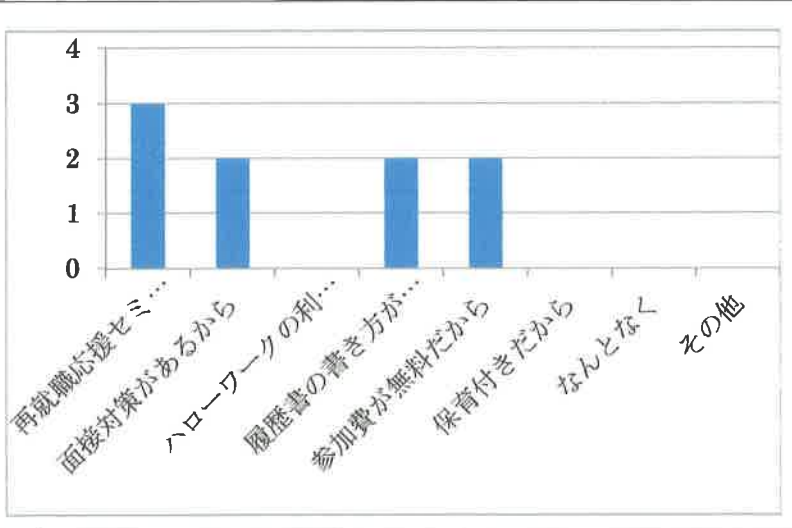
女性いきいきチャレンジ応援協議体

<日時> 平成24年9月25日(火) 9時30分～12時
<場所> 多摩平の森ふれあい館 <参加者数> 8名
<講師> 柴原和子氏
ハローワーク八王子マザーズコーナー相談員



【受講生の声】

【受講動機】



- ・面接のロールプレイが実体験できてよかった。
- ・資料を熟読して、今までの自分を見直そうと思いました。
- ・とても分かりやすく、楽しい講座でした。
- ・自分の再就職に対する甘さを知るいい機会となり、もっと真剣に仕事と向き合っていきたいと思います。

1. 目的

諸事情により就労の場を離れ、再就職を目指す女性のための自分をアピールできる履歴書を書くことを指導してもらう。ハローワークを利用したことのない、また再就職を希望しながらも何から始めればいいのかかわからない女性のために、再就職への一步を踏み出すためのきっかけとなることを目的とする。

また、再就職を目指す女性同士の交流の場、および情報交換の場とすることを副次目的とする。

2. 講座内容

- ① 職活動に入るまでの心構え、チェックポイント
- ② 働き方の違い～正社員とパート、派遣社員の違い
- ③ 募書類の作成方法
- ④ 面接の準備と心構え
- ⑤ 面接ロールプレイ

3. 総括

再就職というカテゴリーの中で、随時ワークショップを取り入れ、参加型の講座構成により実践・実務的な内容となった。参加者は女性の“再就職”というきわめて現実的な問題に対処する必要性があり、緊張感を持って受講していたように感じられた。

アンケート結果にも見て取れるが、受講生にとってもわかりやすい講座内容となった。本講座の目的である再就職への一步を踏み出すきっかけ、さらには自分を見つめ直すきっかけにもなったと考察する。

東京都新しい公共支援事業

NPO法人やまぼうし設立10周年記念イベント 「ふれあいの森フェスタ」 共催事業 アート&クラフト展 報告書

女性いきいきチャレンジ応援協議体

<日時> 平成24年9月30日(日) 10時~15時

<場所> 市民の森ふれあいホール ピロティ

<出店者>

- ① 工房草の実(古布小物・陶器・木工品等)
- ② 花工房(フラワーアレンジメント・リース等)
- ③ アロマテラピーサロン・アール
- ④ パン工房HANA
- ⑤ エステティックサロンPaume
- ⑥ Tammy 'S Treats(東南アジア雑貨)
- ⑦ アトリエ Memi(ビーズアクセサリー)
- ⑧ K-Style(ハワイアン布小物)

※多摩芸術アカデミー…悪天候が見込まれたため、出店取りやめ

1. 目的

今回のアート&クラフト展は、NPO法人やまぼうしとの共催により実現した。

やまぼうし設立10周年記念イベント「ふれあいの森フェスタ」において、女性創業と障害者就労支援のコラボ企画としてブランディング化したコロボックルの贈り物の販売、並びに福祉事業者との協議体の連携をアピールすることを主目的とし、また協議体プランナーによるブランディング化、付加価値を付ける取組の発表の場、並びに協議体のハンドメイドアーティストへの創業支援を副次目的とする。

女性創業者と福祉作業所利用者による社会的事業所の設立を目標とする今回の取り組みは、先駆的な取り組みのひとつとして、位置付けられる。社会的事業所に於いて、女性創業者には創業の場の提供を、福祉作業所利用者には就労の場の提供を創出するプロジェクトである。

6月より前段階として、HERSTORY応援団登録者からプランナーを募集し、福祉作業所の商品に付加価値をつけ、福祉作業所利用者の工賃アップを行う取り組みを実施してきた。

福祉作業所商品のブランディング化を目標とし、ロゴおよびパッケージデザイン等の開発・改良に取り組んだ。

2. 総括

台風が接近するあいにくの天気だったが、多くの参加者にご来場いただいた。

主催者発表 来場者数 1000人

女性創業者は、商品販売、作品の展示即売、体験など多種におよび、その企画販売の多様性に今後が期待される。

出店者からの後日意見として、以下が挙げられた。

- ・ 出店内容の事前調整
- ・ 「アート&クラフト展」周知方法の見直し

また協議体プランナーによるロゴ等を採用したブースと、その目的を周知するための協議体パネル展示が向かい合わせだったことも、相乗効果として良い方向に向いたと考える。

3. 写真



女性いきいきチャレンジ応援協議体のぼり





★ハスティ便箋封筒セット・メモセット



★ハスティ胡麻饅頭



★協議体ブース



★工房 草の実



★花工房



★アロマテラピーサロン・アール



★パン工房 HANA



★エステティックサロン Paume



★Tammy 'S Treats



★アトリエ Memi

2012 年度産業まつり

チャレンジ・ショップフェア

～クリスマスグッズ販売～

報告書

女性いきいきチャレンジ応援協議体

日時；平成 24 年 11 月 10 日（土）11 日（日）

場所；日野市中央公園

共催；社会福祉法人 東京緑新会 多摩療護園

チャレンジショップ・出店者

10 日 ①パン（パン工房 HANA）

②協議体プランナーによるセレクトショップ（河西・難波）

③フラワーアレンジメント&絵（名取）

④コットン雑貨（えりおる）

⑤クリスマスグッズのセレクトショップ（渡辺、掛水）

11 日 ①フラワーアレンジメント・リース（花工房）

②中国結びを使ったクリスマス飾り（斉藤）

③パン（Blance 白武一美）

④協議体プランナーによるセレクトショップ（河西・金子）

⑤ハストリーショップ（ハストリーおまんじゅう・鉛筆など）

* 両日・・・抽選会（対象：アンケート回答者）

1. 目的

女性創業者ならびにこれから創業を目指す女性のための啓発事業として、実際の販売を行う場の提供、並びにマーケティング調査を行う。また、先輩女性創業者と創業予備軍の女性との交流および情報交換の場の提供を行うことを目的とする。

2. 総括

今回は『チャレンジ・ショップフェア～クリスマスグッズ販売～』とし、クリスマスというテーマにそれぞれの商品の差別化を諮り販売、接客を通して消費者の生の声を聴くマーケティング調査を完工した。

協議体テントとならびの社会福祉法人東京緑新会 多摩療護園様のご協力を頂き、2つのテントをつなげて、“一足早いクリスマス～サンタからの送りもの”というテーマにそった装飾を行った。なお装飾デザインはHERSTORY 応援団にご登録頂いている女性イラストレーター難波美和氏に依頼した。

当日は女性いきいきチャレンジ応援協議体の認知度調査アンケートにご協力いただいた方を対象として抽選会を行った。抽選会参加目的のための来場者も多く、集客効果は大であった。(アンケート回収数：521枚)

出店者は出店者会議のときに顔合わせ、自己紹介済みであった事、また、1日1業種各日5店舗までの出店とした為、当日は出店者間の交流を深めることが出来た。

集客への課題としては以下の点が考えられる。

①当日の天気

11日は予報では雨となっていた。当日は朝から曇空で気温も低かったため、客の出足が鈍かったと考える。

②協議体の体制

10日は抽選会にスタッフと時間を割いたが、11日は主に啓発に重点をおいた。そのため、集客にも影響が出たと考えられる。

③場所の問題

中心(ステージ・舞台)からかなり離れた子どもエリアだったため、抽選会・大きなサンタ人形設置など仕組みづくりを行ったが、主催者発表来場者数の1/10000ほどの来場者しか招く事が出来なかった。

協議体としては、その時々状況に応じて柔軟な体制がとれるようスタッフ配置が課題として挙げられる。

またアンケート結果より、1年間の活動を経た協議体およびチャレンジ・ショップの認知度が約50%であったことから、子育て世代への今後の広報活動の見直しも検討する必要性が明らかになった。

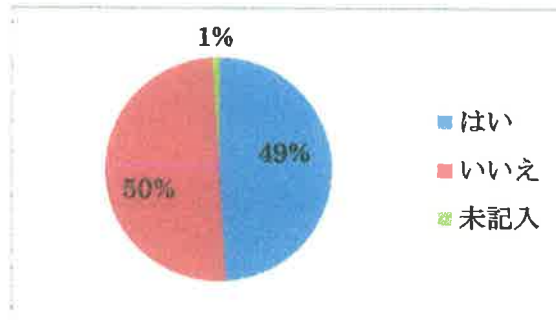
中でも、協議体の活動を93%の方が必要と考えているという結果には、これからの活動への期待や継続への要望が数字として表れ、我々の活動に携わる者への弾みとなる結果を得られた。

産業まつりアンケート集計結果

アンケート回収数 521 枚

Q1・女性いきいきチャレンジ応援協議体の名前をご存じでしたか？

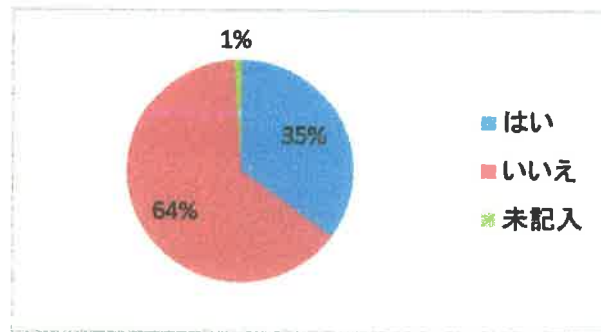
	回答数	割合
はい	259	49%
いいえ	261	50%
未記入	1	1%
合計	521	100%



Q2・毎月様々なワンコイン・トライアル教室（アロマ・自彊術・パン教室・お料理教室・スイーツ教室・プリザーブドフラワー教室・ヨガなど）を開講しています。

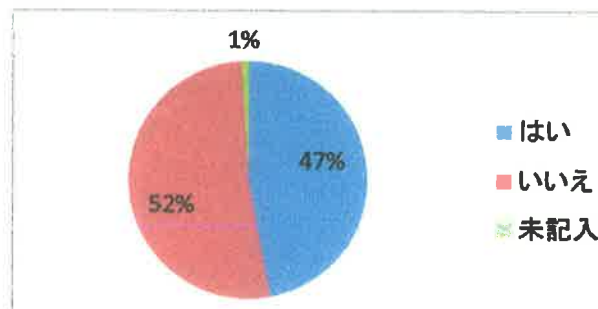
ご受講されたことがありますか？

	回答数	割合
はい	185	35%
いいえ	336	64%
未記入	0	1%
合計	521	100%



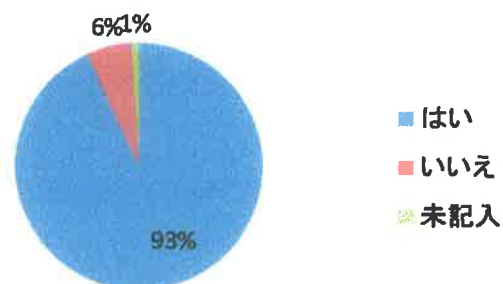
Q3・ハンドメイド作家の方々の作品を展示販売するチャレンジショップを運営しています。ご存知ですか？（※トムスポーツクラブ内（旭が丘・市民の森ふれあいホール）

	回答数	割合
はい	248	47%
いいえ	272	52%
未記入	1	1%
合計	521	100%



Q4・女性の様々なチャレンジを支援する協議体の事業が今後も継続して必要と思われますか？

	回答数	割合
はい	485	93%
いいえ	35	6%
未記入	1	1%
合計	521	100%



Q5・その他、ご意見・ご提案がございましたらご記載ください。

- ・女性が元気だと世の中も元気になると思います。今後も頑張りましょう！
 - ・頑張っしてほしいと思います。
 - ・これからも頑張っ続けてください。
 - ・応援してます。(2)
 - ・時間が合う時に是非参加したいです。
 - ・ワンコイン・トライアル講座行ってみたいです。
 - ・知る機会があれば参加可能です。
 - ・勉強します。
 - ・参加はできませんが購入と応援はしていきたいです。
 - ・ありがとう。
-
- ・とっても興味ある活動なので、幼稚園などにも広報誌など配布してもらえると嬉しいですね。
 - ・興味あるけど、知らなかった。
 - ・広報をお願いします。
 - ・もっとPRした方がいいと思う。
 - ・色々な活動があるのに知らなくてごめんなさい。
 - ・南平の方では多摩平の方へ行くのが中々大変なことです。
 - ・活動内容が分かりづらい。
-
- ・500円アロマ最高です。
 - ・夏休み工作が楽しかったです。
 - ・色々なチャレンジをワンコインで参加でき楽しみです。

写真（11月10日）



えりおる



パン工房HANA





フラワーアレンジメント&水彩画



えりおる



パン工房HANA



クリスマス・グッズのセレクトショップ



協賛体プランナーによるセレクトショップ



抽選会

写真 (11月11日)



中国結び



花工房



花工房



Blance



協議体プランナー



多摩赤護園



東京都新しい支援事業

第2回『アート&ライフマーケット』 出展報告書

女性いきいきチャレンジ応援協議体

＜主催＞ サンケイリビング新聞社多摩本部
＜日時＞平成24年11月27日（火）10時～16時
＜場所＞フォレストイン昭和館（東京都昭島市）



来場者 1731人
企業出店 14社
個人出店 50人
サンケイリビング新聞社発表

1. 目的

今回、初出展となるリビング多摩主催『アート&ライフマーケット』は、手作り品を販売し作品を発表することにより販売を通じてのコミュニケーションの楽しさを体感していくイベントとして、第1回（2012年2月21日開催）では昭島近辺を中心に2434人（主催者発表）の来場者を集めている。

目的として以下、3つを上げる。

- ① 女性いきいきチャレンジ応援協議体では、チャレンジ・ショップを今後日野市のみならず多摩地域で事業展開していく中で、特にニーズの高いクラフト作品を販売したいという女性にむけて協議体の認知度UP（掲示板の案内・バーチャルチャレンジショップの案内）をはかり、参画者、賛同者を集める啓発・交流事業として実施することを目的とする。
- ② 今年度自主事業として実施してきたNPO法人やまぼうしとの協働事業である『障害者と女性創業者による社会的事業所の設立』にむけての取り組みの試験的的事业として、NPO法人共同連・南関東ブロックと共催しプロデュースした福祉共同作業所商品の詰め合わせセット”多摩手箱”の発表と今後の取り組みをモデル事業化するためのマーケティング調査をすることを第2の目的とする。
- ③ 協議体プランナーとNPO法人やまぼうしとのコラボレーションによる『スムージー』の試食・販売を行う。女性の発想力・創造力を活かした商品開発の発表の場とすることを第3の目的とする。

2. 協賛：NPO法人共同連 南関東ブロック

- ① 特定非営利活動法人 あしたや共働企画
- ② 特定非営利活動法人 結の会
- ③ 特定非営利活動法人 やまぼうし

3. 総括

今回のイベントは、今後多摩地域へ事業展開をしていくための布石となった。

『チャレンジ・ショップ』事業において、消費者のニーズは、ハンドメイド商品（1点もの）買いであり、出店者はそれぞれの個性や感性を表現したハンドメイド商品を製作し、差別化を諮ったオリジナル商品を展示即売する。

今回のイベントでも参加団体14企業、個人出店50店舗（抽選）との数字に表れるように、出店、販売を希望するクラフト作家が『販売の場』を求めるニーズは高い。

現在、協議体はチャレンジショップを日野市内2か所で実施し、『販売の場』を提供する事業を継続的に実施していることの認知度を上げる当初の目的は、HPのビュー数が2割アップした事で達成されたと考えられる。

また、NPO法人共同連と協賛し、協議体がパッケージデザイン、パンフレットデザインをプロデュースした商品の販売を行ったことは、21世紀へのアライアンス（障害者と女性の発想力・創造性）を提案するモデル事業として発表の場を得、主な購買層と考えられている年代（30代～主婦層の女性、クラフトに興味のある年代とほぼ一致）へのマーケティング調査を実施できたことは評価に値する。

最後に、『スムージー』の試飲・販売は、会場内の状況から当初の予定販売価格を下げ、量も少なくしての販売となった。そのため完売することはできなかったが、市民の森ふれあいホール内スローワールド森カフェ佐藤シェフとの商品開発商品を発表できたことは、新しい事業体と新しい取り組みを行うきっかけともなった。協議体の今後の事業展開について、さらなる伸びしろをつくることができたことが、一番の成果といえるのではないかと考える。

写真



NPO法人やまぼうし 佐藤 シェフ



スムージーの試飲販売



共同連パック 販売

NPO法人あしたや共働企画 長尾理事

収支報告

(円)

収入		支出	
新しい公共支援事業	210000	サンケイリビング新聞社	210000
スムージー売上	20400	NPO 法人やまぼうし	20400
合計	230400	合計	230400

東京都新しい支援事業

第2回『アート&ライフマーケット』

出展報告書

女性いきいきチャレンジ応援協議体

＜主催＞ サンケイリビング新聞社多摩本部
＜日時＞平成24年11月27日（火）10時～16時
＜場所＞フォレストイン昭和館（東京都昭島市）



来場者 1731人
企業出店 14社
個人出店 50人
サンケイリビング新聞社発表

1. 目 的

今回、初出展となるリビング多摩主催『アート&ライフマーケット』は、手作り品を販売し作品を発表することにより販売を通じてのコミュニケーションの楽しさを体感していくイベントとして、第1回（2012年2月21日開催）では昭島近辺を中心に2434人（主催者発表）の来場者を集めている。

目的として以下、3つを上げる。

- ① 女性いきいきチャレンジ応援協議体では、チャレンジ・ショップを今後日野市のみならず多摩地域で事業展開していく中で、特にニーズの高いクラフト作品を販売したいという女性にむけて協議体の認知度UP（掲示板の案内・バーチャルチャレンジショップの案内）をはかり、参画者、賛同者を集める啓発・交流事業として実施することを目的とする。
- ② 今年度自主事業として実施してきたNPO法人やまぼうしとの協働事業である『障害者と女性創業者による社会的事業所の設立』にむけての取り組みの試験的的事业として、NPO法人共同連・南関東ブロックと共催しプロデュースした福祉共同作業所商品の詰め合わせセット”多摩手箱”の発表と今後の取り組みをモデル事業化するためのマーケティング調査をすることを第2の目的とする。
- ③ 協議体プランナーとNPO法人やまぼうしとのコラボレーションによる『スムージー』の試食・販売を行う。女性の発想力・創造力を活かした商品開発の発表の場とすることを第3の目的とする。

2. 協賛：NPO 法人共同連 南関東ブロック

- ① 特定非営利活動法人 あしたや共働企画
- ② 特定非営利活動法人 結の会
- ③ 特定非営利活動法人 やまぼうし

3. 総 括

今回のイベントは、今後多摩地域へ事業展開をしていくための布石となった。

『チャレンジ・ショップ』事業において、消費者のニーズは、ハンドメイド商品（1点もの）買いであり、出店者はそれぞれの個性や感性を表現したハンドメイド商品を製作し、差別化を諮ったオリジナル商品を展示即売する。

今回のイベントでも参加団体14企業、個人出店50店舗（抽選）との数字に表れるように、出店、販売を希望するクラフト作家が『販売の場』を求めるニーズは高い。

現在、協議体はチャレンジショップを日野市内2か所で実施し、『販売の場』を提供する事業を継続的に実施していることの認知度を上げる当初の目的は、HPのビュー数が2割アップした事で達成されたと考えられる。

また、NPO法人共同連と協賛し、協議体がパッケージデザイン、パンフレットデザインをプロデュースした商品の販売を行ったことは、21世紀へのアライアンス（障害者と女性の発想力・創造性）を提案するモデル事業として発表の場を得、主な購買層と考えられている年代（30代～主婦層の女性、クラフトに興味のある年代とほぼ一致）へのマーケティング調査を実施できたことは評価に値する。

最後に、『スムージー』の試飲・販売は、会場内の状況から当初の予定販売価格を下げ、量も少なくしての販売となった。そのため完売することはできなかったが、市民の森ふれあいホール内スローワールド森カフェ佐藤シェフとの商品開発商品を発表できたことは、新しい事業体と新しい取り組みを行うきっかけともなった。協議体の今後の事業展開について、さらなる伸びしろをつくることができたことが、一番の成果といえるのではないかと考える。

写真



NPO法人やまぼうし 佐藤 シェフ



スムージーの試飲販売



共同連パック 販売

NPO法人あしたや共働企画 長尾理事

収支報告

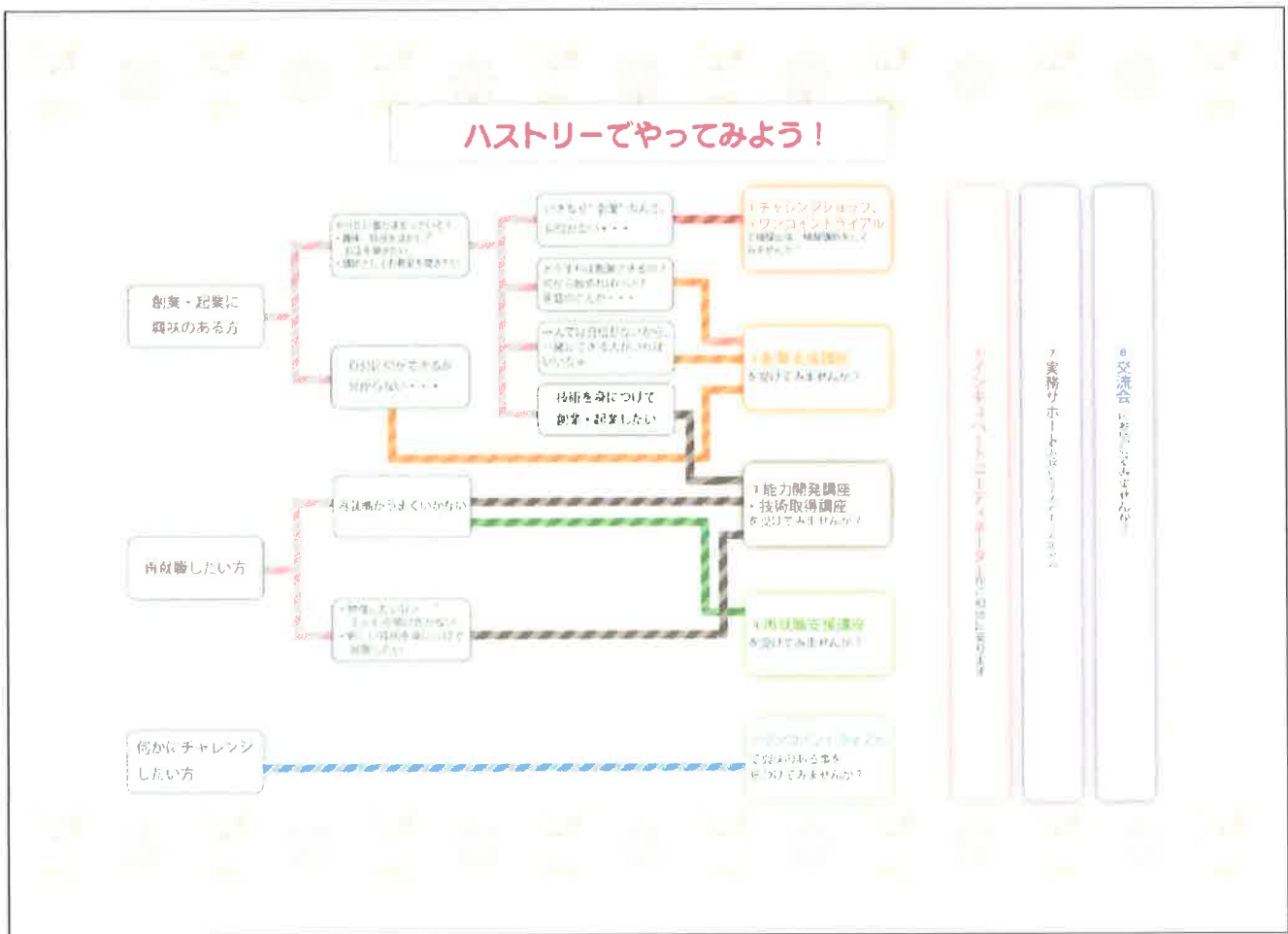
(円)

収入		支出	
新しい公共支援事業	210000	サンケイリビング新聞社	210000
スムージー売上	20400	NPO 法人やまぼうし	20400
合計	230400	合計	230400

平成 23 年度～24 年度活動報告パネル展 報告書

女性いきいきチャレンジ応援協議体

<日時> 平成24年3月1日～3月31日
<場所> 多摩平の森ふれあい館 1階および3階



添付資料；

1. 多摩平の森ふれあい館・パネル展掲示物

1. 目的

平成23年11月から平成24年度末までの活動報告を行い、女性いきいきチャレンジ応援協議体のこれまでの取り組みの成果発表、ならびに平成25年度以降の事業内容の周知を目的とする。

2. 総括

女性いきいきチャレンジ応援協議体の約1年6か月にわたる活動成果の発表の場とした。1階では総括としての成果発表、3階では個々の事業について取り組んだ内容の発表を行った。

これまで協議体の活動拠点であった多摩平の森ふれあい館での成果発表である。

創業支援講座を始めとした各種の支援講座、チャレンジの居場所づくりに関しては、面談予約希望者が1ヶ月平均5名を超え、事業継続が望まれている状況である。

多くの方に関わって頂き成果としてパネル展として、発表することができたことは協議体の財産となった。

またこれらの成果を糧に、平成25年度・女性いきいきチャレンジ応援協議体の事業企画もパネル展の一つとして発表を行った。今後、協議体は日野市より自主独立し、これまでの女性支援の枠にとらわれない新たな支援事業も模索し活動継続を目指す。

3. 写真

<多摩平の森ふれあい館>



『3階展示スペース』



『1階 展示スペース』



居場所づくり事業として実施してきたワンコイン・トライアル教室のポスター・チラシも同時に展示し、4月以降の事業についての広報活動も実施した。

創業相談会

報告書

女性いきいきチャレンジ応援協議体

相談会名；①③④⑤創業相談会

②インキュベーターコーディネーターによる一步を踏み出すためのなんでも個別相談会

開催日時；①2012年6月15日（金） 15時～19時 担当 菅沼真奈美氏

②2012年7月17日（金） 13時～15時 担当 山田容子氏

インキュベーターコーディネーター養成講座・IC資格合格者

③2012年9月13日（木） 14時～15時 担当 山根眞知子氏

16時～17時 担当 山田容子氏

④2012年12月17日（月） 13時～15時 担当 伊藤美樹氏

17時～17時30分 担当 山田容子氏

場 所；多摩平の森ふれあい館 相談室

相談人数；12名（延） ①4名 ②3名 ③2名 ④2名（1名キャンセル）

実績： 3名が創業

1. 目的・概要

副業創業を希望する女性への啓発、層の掘り起こしによる事業の継続性を担保する事を目的とする。

産業まつりでは相談予約受付を実施、多様な働き方の再就労支援も実施した。協議体の活動・及び創業を目指す女性の創業支援を行ってくださる方の増加、事業の拡大・発展が見込まれ、当該事業の認知度がUPした。

相談は創業応援講座の講師である山根眞知子氏・インキュベートコーディネーター講座の講師である山田容子氏・キャリアカウンセラーやインキュベートコーディネーターが行い、創業を含め一歩踏み出したい、女性の自己実現を支援した。

2. 対象

- ・就労希望者や創業を含め、一歩踏み出したい方。

3. 総括

相談者は面談により自身の状況の棚卸を行い、現状をみつめ、次のステップにいくための気づきとなった。全4回で述べ8名の相談があった。ワンコイン・トライアル教室の講師も2名面談を受けた。それにより自身の教室運営についての振り返りを行い、今後の展開方法について考える場にもなった。12月13日については当日キャンセルが続き、相談者は0名となった。申し込み予約から面談実施まで日程が空く場合は、前日確認を行うなどして、相談者への働きかけが必要と感じた。3月14日は山根氏の面談時間外の16時からNPO設立についての面談を希望した方がいたため、NPO立ち上げ経験が豊富な協議体事務局長の吉岡奈津絵氏が対応した。

相談会により、多様な働き方の再就労支援を実施した。創業に至った人数は3名（美容サービス・）である。今後も、協議体としては一歩踏み出したい方を支援していきたい。



1. チャレンジショップ

チャレンジ・ショップとは？

～2012年5月より開店！～

これから創業・起業を考えている人のために、創業前の模擬店舗です。
創業するために必要なマーケティング調査・商品開発ならびに改良をするためのアンテナショップです。出店は1日～最長3か月まで、イベント催事のみのお店も受け付けています。

出店場所：トムスポーツクラブ、市民の森ふれあいホール、法政大学 多摩キャンパス、
商業施設など順次拡大中

出店決定

※2012年5月21日より開催

- ★ フラワーアレンジメント・オーナメント
- ★ 整体 ★パン
- ★ ピーズアート ★食品加工品
- ★ 服飾・小物 ★駄菓子
- ★ ハンド・フットマッサージ
- ★ カリグラフィ・季節のカード作成
- ★ 革製品 ★アーティフィシャルフラワー
- ★ カラーセラピー体験
- ★ コロボックルの贈り物（富良野直送野菜）

etc



なぜチャレンジ・ショップがあるの？

～ニーズ調査結果より抜粋～

- ★自分の作品を展示・販売できるお店の情報を日野市のホームページや広報誌にのせてほしい。
- ★資格はあるが提供場所がないため断念した。
- ★作品を売るために不定期で借りられるスペースがほしい。/日貸しの店舗
- ★作品の委託販売場所がほしい。
- ★期間限定でお店等が開けるレンタルスペースがほしい。
- ★出店するための場所・イベント会場を借りたい。収入が見込めないのが高額は困る。
- ★場所の支援/小スペース低家賃で借りられる仕組み/オフィスを借りる支援が欲しい。

このようなご要望をうけて、チャレンジショップは開店しました！

“できない”はありません。“できる”にしましょう！

Herstory がその想いを実現するためにお手伝いをします！！

2. 創業支援講座



創業支援講座とは？

これから創業・起業をしたい人のための導入講座です。創業・起業するために最低限必要な知識・創業にあたっての姿勢や考え方、実務に関する基礎的知識を学ぶことができます。

また、志を同じくする人たちと交流を深めることができることも、講座の魅力の一つとなっています。

講座

※2012年1月開催

★あなたの気づきをプロデュースする創業支援講座★

～これからの創業・事業 Mix への提案～

まずは、あなたの中の“気づき”を探してみましょう。

これまでの人生を振り返り、あなたがお持ちの数ある引き出しから、大切にしてきたこと・想い、そしてあなただけができることをみつける。その“気づき”を創業に活かしていきます。



★私らしい仕事をつくりワークライフバランスを実現するための女性の創業応援講座★

※2012年4月、5月開催

自分が今いる環境の中で創業に活かせる資源にどのようなものがあるのか？

分の身の丈にあった事業を展開するための『HOW TO』事業計画の立て方を学べる講座です。

★本気で創業！

全国創業塾人気ナンバーワン講師による

マーケティング講座★

※2012年7月開催

創業を考えている人にとっては、必須の内容です。

マーケティングの基本、Webマーケティングの始め方、ネットショップの開店方法、SEO、フェイスブックを利用した販路拡大方法などを学べる講座です。

平成23年、24年 受講者合計 154名

女性いきいきチャレンジ応援協議体の開催する講座は、すべて保育付きです。



3. 能力開発講座 技術取得講座



能力開発講座・技術取得講座とは？

女性いきいきチャレンジ応援協議体では、スキルアップのための各種講座を開講しています。どれも保育付きなので、子育て中のお母さんも楽しく受講していただけます。

平成23年度

★リンパDE健康リンパケア講師育成講座★

”お家でできるリンパケア”の技術取得および講師養成のための講座です。

3日間連続講座：受講者45人（延）
（内 創業者3名）

★インキュベート・コーディネーター（IC）養成講座★

創業・起業を考えている方の気持ちに寄り添って、やりたい事を見出すお手伝いや起業のサポートを行う専門家を養成するための講座です。

9日間連続講座：受講者135名（延）



講座参加者の声

- ★ 先生のお話がとてもよかったです。表情とか受講生のひきつけ方など、勉強になります。
- ★ ワークが多い講座は初めてだったので、新鮮です。
- ★ 先生のポイントをおさえたユーモアを交えた講座内容が良かった。
- ★ もう少し時間を延長してほしいと思いました。

平成24年度

★PC講座：エクセル習得講座★

パソコン（エクセル）技術を習得して再就職に活かすことを支援し、エクセル初心者を対象に、すぐに使えるエクセルの使用方法を学んでもらう講座です。

6回連続講座：受講人数91名（延）
（内再就職者4名）



なぜ能力開発・技術取得講座

があるの？ ～ニーズ調査結果より抜粋～

- ★資格取得のための格安講座の開催。その後のサポートサービスがほしい。
 - ★専業主婦のための無料か安価な、技術・資格取得支援がほしい。
 - ★保育付き講座がほしい。
- このようなご要望をうけて、講座が開講しました！

女性いきいきチャレンジ応援協議体の開催する講座は、すべて保育付きです。

4. 再就職支援講座



再就職支援講座とは？

女性いきいきチャレンジ応援協議体では、結婚・出産・介護などの理由で職を離れた女性のための、再就職応援講座を開催しています。また講座は、いずれも保育付き（先着順・有料）のため、小さいお子様がいるお母さんも、安心して受講していただけます。

講座 平成24年度

★あなただけの魅力度 UP!メイク講座

- ①個性を活かした決めメイク
- ②面接にはえる5歳若返りベースメイク編

受講者20名



★子育てキャリア講座★

子育て中の女性を対象に、キャリアブレイク中の今にしかできないことを見つけてもらい、子育てもキャリアだと認識できるような自己啓発を行い、今後のキャリア形成ならびに人生目標を立てるための講座です。

受講者33名



★女性のための再就職応援セミナー 面接対策講座★

就職活動ですぐに役立つ、ハローワークの利用方法、履歴書の書き方、面接時に気を付けたいマナーなどを学びます。

受講者8名



なぜ再就職支援講座があるの？

～ニーズ調査結果より抜粋～

- ★主婦が社会に出るためのセミナーがあればよい。
- ★保育付きの勉強会（カルチャースクール・講座/キャリア支援講座/PC講座等）があればよい。
- ★職業体験できる機会/説明会/起業・就労する前にトレーニングできる場所がほしい。

このようなご要望をうけて講座を開講しました！

5. ワンコイントライアル



ワンコイン・トライアルとは？

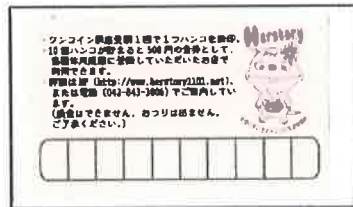
模擬講師として

保有している資格や趣味で培った技術を活用し、教室運営・各種講師を目指す方のために、講師体験の場を提供します。効果的な教室運営のために必要な受講生の要望や受講生確保の為の手法等を調査し、それを実践してみること

受講生として

どなたでもワンコイン（500円）で受講できます。多種多様な分野の講座を手軽に受講して、興味の幅をひろげてみませんか！？

ワンコイン・トライアル教室は受講ポイントカードに受講毎に1個捺印します。10講座受講すると500円の金券としてHerstory応援団に登録されている各種お店で使用することが可能です。→⑦Herstory応援団とは？



ワンコイン・トライアル教室続々開催決定！ ※2013年2月末現在

料理

- ★豆腐 De ヘルシー料理教室
- ★夏野菜 De 彩るヘルシーパン教室
- ★お家 De 韓国理教室
- ★ワンボール De 簡単スイーツ教室
- ★親子 De パン教室
- ★はじめてのパン教室
- ★はじめて紅茶教室
- ★西欧薬膳料理教室
- ★お家 De ホームパーティー
- ★休日は手作りパン De リフレッシュ教室

- ★アロマ De 癒しの介護術
- ★男性の為のアロマ教室
- ★中高年のピアノ教室
- ★クリスマスフラワー

芸術

- ★フランス式アロマセラピー
- ★ハワイアン・ステンシル
- ★フラワーセラピー
- ★プリザーブトフラワーフローラルアート
- ★ベビーリトミック教室
- ★はじめての大正琴
- ★夏休みこどもスペシャル
- ★65歳以上のための初めてのリトミック教室
- ★アロマクラフト
- ★ビジネスに活かす！英国式アロマクラフト
- ★ハロウィンを楽しむ！

- プリザーブトフラワーアート
- ★お花の水彩画教室 ★アート書道
- ★しめ縄教室 ★テーブル茶道
- ★家族へのアロマハンドマッサージ

健康

- ★ベビーヨガレッチ
- ★ストレスフリー De 健康美
- ★セルフディフェンス&ビューティー 美の護身術
- ★はじめてのベビーマッサージ
- ★ストレッチ整体 De リフレッシュ
- ★ママのお家 De ツボ療法
- ★自彊術
- ★32式太極剣
- ★ヨーガ De ストレッチ
- ★はじめてのヨガ
- ★はじめてのフラダンス
- ★マクロビオティック食育講座

開講：81講座

受講者：933人

<<講師体験 ご希望者募集中！！>>

なぜワンコイン・トライアル教室があるの？

～ニーズ調査結果より抜粋～

- ★資格はあるが提供場所がないため断念した。
- ★趣味や学習の教室用に決まった曜日の決まった時間だけ借りることができるスペース。

このような声をうけて、ワンコイン・トライアル教室は開講しました！



6. 相談窓口設置

相談窓口とは？

- ★「自分の中にあるモヤモヤ感をスッキリ整理させたい！」
- ★「自分のやりたい事がわからない・・・。」
- ★「何かやりたいけれど、それが起業につながるのか分からない・・・。」
- ★「起業したいけれど、具体的に何から手をつければよいのか分からない・・・。」
- ★「起業は大変そうで、誰かに背中を押してもらいたい・・・。」
- ★「起業したけれど、前途多難で挫折しそう・・・。」

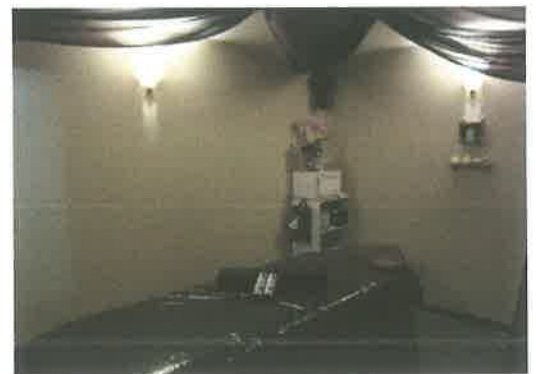
こんな女性の気持ちに寄り添って、一歩踏み出す為の気づきのお手伝いや起業のサポートをインキュベートコーディネーターが行います。

じっくりと相談にのって、常に励ますメンター的な関わりをしていきます。

こんがらがった糸を解きほぐすように、あなたの悩みを解きほぐし、やりたいことをみつけ、一歩を踏み出すことをお手伝いする窓口です。

平成23年・24年

相談件数 12件 (内創業者 3人)



(エステティックサロン Paume(ポーム):トムスポーツクラブ内)

ひのけーすルテレビ
★取材していただきました★

2013年2月5日開催「お家De!ンバケア講座」
主催:エステティックサロン Paume(ポーム)

取材の動画もご覧いただけます。<http://hiketsuhiro.com/vr16.jp/>

なぜインキュベートコーディネーターが必要なの？

～ニーズ調査結果より抜粋～

- ★ 何でも気軽に聞ける窓口が欲しい。
- ★ 起業後のフォロー体制・助言システムが欲しい。
- ★ 何ができるかわからない。
- ★ 起業の橋渡し。アドバイスがほしい。
- ★ スポンサーやアドバイスしてくれる人がいれば起業したい。
- ★ 女性が一人でも店を出せるシステムや相談窓口がほしい。

このようなご要望をうけて、インキュベートコーディネーターによる相談窓口があります！



7. Herstory 応援団

Herstory 応援団とは・・・（登録者数 162 名 2013/3 現在）

女性いきいきチャレンジ応援協議体の活動や創業・起業をめざす女性の実務支援を行います。またモニターや各種プロジェクトのプランナーなど、協議体の新たな事業活動にもご参画いただいています。

応援団に登録する。

「人の役に立ちたい。」

「何か、私にもできることがあるはず。」

「このことは私にまかせて！」

…どんな分野でも、どんな小さなことでも！あなたの力・あなたの知識を必要としている人は必ずいます。

何かを始めるきっかけに、“Herstory 応援団”に登録をしてみませんか？

応援団では、協議体の活動のお手伝いや創業・起業を考えている女性への実務支援をそれぞれ得意な分野でご活躍していただきます。

応援団にサポートを

お願いする。

「経理ってどうすればいいの？」

「営業の方法を教えてほしい。」

「HP をつくってアピールしたい。」

「イベントのお手伝いがほしい。」 etc、

創業・起業を目指す女性に必要な知識やサポートはいろいろあります。その受け皿となるのが応援団です。協議体ではインキュベーターを通じて、応援団に登録していただいた方とつなげていきます。

プロジェクト

女性いきいきチャレンジ応援協議体では、福祉作業所製品の工賃アップのための「ブランディング・マネジメント」に、Herstory 応援団からプランナーが参画しました。

*福祉作業所 認知度UP第作戦 I N日野 (2012/6)

作業所の利用者の工賃アップを目指し、作業所製品の商品開発並びにブランドを目指しました。

*リビング多摩主催『アート&ライフマーケット2012』(2012/11)

NPO法人共同連 南関東ブロックと協働し、作業所お奨めパックとして、『多摩からの小さな贈り物 多摩手箱』の商品化をしました。

*法政大学多摩キャンパス 住民協議会売店にて 『多摩手箱販売』(2012/12)



女性いきいきチャレンジ応援協議体では、Herstory 応援団の募集を随時、受け付けています。

女性だけではなく、知識や会社経験豊富な男性の登録も大歓迎です！

8. 交流会



交流会とは

すでに創業・起業され成功されている女性起業家と、これから創業・起業を考えている女性、彼女たちを応援してくれる方々との交流の場です。これから創業・起業を考えている女性にとっては、少し先に起業され成功されている先輩たちから、直接話を聞くことのできるよい機会となりました。

さらには、先輩女性起業家から話を伺う機会だけではなく、同じ創業・起業をめざす者同士の交流の場としてご活用ください。

お母さん行ってらっしゃい！交流会

2012年2月12日開催

さる2月12日ひの煉瓦ホールにて『お母さん行ってらっしゃい！』交流会が行われました。

★トークショー 田中陽子さん&下重喜代さん



★女性創業者との交流会



参加者の声～アンケートより抜粋～

- ★とても良い話が聞けて良かったです。元気が出ました。
- ★起業以前に人として大切なことを学んだ気がします。
- ★活き活きと活動される方々のお話や様子にふれることができ何よりでした。
- ★ブースで生の声を聞けて、よかったです。

多くの方々にご来場・ご出店、ならびにご協力をいただきました。
本当にありがとうございました！

9. 美活部



美活部とは？

コンセプトは『**健・美・知**』

2013年1月、多摩に女性のための新しい活動の場所が生まれました。
これまで都内に行かなければできなかったこと、学べなかったことを、多摩地域で気軽に学んでいきます。
内側から外側から、そして内面まで一。

前向きに生活を楽しみ、自信を持って新しい一歩を踏み出したいと想う女性を応援します。

開講講座

★ウォーキング講座～きれいな歩き方を学んだことはありますか？～

2013年1月～開講中（全6回）

講師：小野寺 MARIKO 氏（デューク更家公認スタイリスト）



★大人のためのマナー講座

2013年2月～開講中（全3回）

講師：佐野 了氏（ヒューマンアカデミー専属講師）

『学んでみよう！！好印象を与える会話術&

訪問先での美しい立ち居振舞い編』



「HERSTORY×デュオヒルズ日野多摩川」
モデルルームで講座開催

サンマルク日野豊店にて開催



びかつぶ
美活部
大人のための
マナー講座

『ランチ友にプチ自慢！！欧米ブライダルより西洋料理とシャンパンの基礎知識編』（3月8日）

『知識美人！！上質女性の手紙の書き方・お礼状のマナー編』（4月19日）

開催予定講座

★台所から始まる政治経済の話～今の日本や世界の情勢を子どもに話してあげることができますか？～

講師：西田 陽光氏（社）日本家庭生活研究協会・常務理事

2013年5月～2014年3月（全10回）

★フェアトレードについて考える

★料理長から学ぶ旬の料理教室

★ウォーキング講座Ⅱ～親子できれいな歩き方を～

他 多数順次開講予定

会長 吉岡 卓人
NPO 法人 Rapport 理事長
公認会計士 ・ 経営コンサルタント

副会長 佐々木 健一
虎の門有限責任監査法人 理事
公認会計士 ・ 統計士 ・ フラクチュアリー

平 晴美
NPO 法人 日野子ども劇場 副理事長

奥住 豊
株) 日野市企業公社 施設管理部門部長

菅野 雅巳
日野市 男女平等課 課長

協議体スタッフ



協議体設立趣旨

女性いきいきチャレンジ応援協議体は、昨年11月に東京都新しい公共支援事業の第1次交付金を拝受し、設立しました。

日野市基本構想(2020プラン)でも推奨されております公民協働を実践する団体です。

主に、女性の視点からの《創業》を支援し、定着までフォローアップしていく事業を展開し、新しい就労の場も提供することが出来ればと考えております。

『女性が元氣になれば、地域が活性化する』
をスローガンに・・・

『女性創業者にやさしい街・・・日野』
を目指して鋭意努力して参ります。

皆様のご理解とご協力、ご教鞭のほどお願い申し上げます。

設立構成団体

日野市
株式会社日野市企業公社
NPO法人 Rapport
NPO法人 日野子ども劇場
虎の門有限責任監査法人

スタッフブログ更新中!

<http://www.herstory1101.net>
mail; info@herstory1101.net
TEL:042-843-3006



東京都新しい公共支援事業

女性いきいきチャレンジ
応援協議体



HERSTORYとは・・・
HER + STORY!

住所：〒191-0062
日野市多摩平2-9
男女平等推進センター内
電話：042-843-3006
mail; info@herstory1101.net

HERSTORYとは？

HER + History = HERSTORY

彼女の、私たちの歴史という意味の造語です。

協議体設立経緯と今後

協議体は、女性の就労・創業について、NPO等の多様な担い手が協働し、ニーズ調査・啓発、就業・創業支援、定着支援と一貫した女性の多様な働き方へのチャレンジ支援を行うことを目的として、NPO等多様な担い手により、2011年11月、東京都新しい公共支援事業として設立しました。

2013年は、行政より独立し、皆様からの声を大切に、

『女性の居場所づくり事業』

『一歩踏み出すお手伝い事業』

『女子カUP! 自分磨き事業』

各種事業を展開して参ります。



協議体キャラクター

ハステイ



<所在地>

東京都日野市旭が丘3丁目1-25

トウモロープラザビル6階

<電話>042-843-3006

<Mail> info@herstory1101.net

<アクセス>

・JR中央線豊田駅徒歩約15分

・JR中央線豊田駅バス3番乗り場より

平山工業団地循環行き乗車

「旭ヶ丘4丁目」下車す<

<営業時間>

9:00~17:00

<定休日>

毎週水曜日・土曜日・日曜日

(除講座開講日)



<https://www.herstory1101.net>

女性いきいき

検索



『東京都新しい公共支援事業』から
~もう一歩先をめざして~

ハステイ

HERSTORY



女性いきいきチャレンジ
応援協議体



女性いきいきチャレンジ応援協議体

住所：東京都日野市旭が丘

3丁目1-25

トウモロープラザビル6階

(通称：トムビル)

電話：042-843-3006

Mail: info@herstory1101.net



女性いきいきチャレンジ応援協議体

東京都日野市旭が丘3-1-25

トウモロープラザビル6階

TEL:042-843-3006

info@herstory1101.net